



## 経営トップ

### 下地島エアポートマネジメント株式会社

～“空港から、リゾート、はじまる。”宮古島圏域の魅力を国内外に発信する新たな玄関口～

## 起業家訪問 An Entrepreneur

### 株式会社オムニバスワンダーラボ

## 講演録

### 沖縄県の未来を考えるシンポジウム

RRI No.155

 琉球銀行

 りゅうぎん総合研究所



※目次(CONTENTS)の各タイトルをクリックするとそのページにジャンプします。

## CONTENTS

<p><b>経営トップに聞く</b> <span style="float:right">01</span>  <b>下地島エアポートマネジメント株式会社</b>          ～“空港から、リゾート、はじまる。”宮古島圏域の魅力を          国内外に発信する新たな玄関口～          代表取締役社長 <b>伴野 賢太郎</b></p>	
<p><b>起業家訪問 An Entrepreneur</b> <span style="float:right">06</span>  <b>株式会社オムニバスワンダーラボ</b>          ～誰かを想い、その人にとってより便利でより良い環境となる          “思いやりから生まれるアイデア”を形にする～          代表取締役 <b>名嘉真 了一</b></p>	
<p><b>新時代の教育研究を切り拓く</b> <span style="float:right">08</span>          ～クラゲをクラゲたらしめるものとは？～          沖縄科学技術大学院大学コミュニケーション・広報ディビジョン メディアセクション          (同大学のHP記事より許可を得て転載)</p>	
<p><b>OCVBの取り組みについて</b> <span style="float:right">11</span>          DMO 2018年度事業実績概要          一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー</p>	
<p><b>講演録 沖縄県の未来を考えるシンポジウム</b> <span style="float:right">15</span>          第1部 基調講演「プレミアム地方創生と沖縄」          第2部 パネルディスカッション          「プレミアム沖縄創生戦略～観光1,000万人時代の先を見据えて～」          主催：(公財)九州経済調査協会、(株)琉球銀行、(株)りゅうぎん総合研究所</p>	
<p><b>アジア便り 台湾</b> <span style="float:right">29</span>          ～台湾人観光客について～          レポーター：<b>崎山 寛弥</b>(琉球銀行)          則和企業管理顧問有限公司へ赴任中</p>	
<p><b>りゅうぎんビジネスクラブ</b> <span style="float:right">32</span>          ～「台湾マーケットセミナー」開催のご案内～          ～「りゅうぎんビジネスクラブ」入会のご案内～</p>	
<p><b>行政情報115</b> <span style="float:right">34</span>          沖縄総合事務局経済産業部の最近の取組について          内閣府沖縄総合事務局経済産業部</p>	
<p><b>県内大型プロジェクトの動向113</b> <span style="float:right">36</span></p>	
<p><b>案内 国際食品商談会「沖縄大交易会2019」参加者募集</b> <span style="float:right">38</span></p>	
<p><b>沖縄県の景気動向 (2019年4月)</b> <span style="float:right">40</span>          ～観光関連の入域観光客数や消費関連の百貨店売上高が前年を上回り、          建設関連も概ね好調に推移し、県内景気は7カ月連続で拡大している～</p>	
<p><b>学びバンク</b> <span style="float:right">52</span>          ・<b>県内の公示価格</b> ～工業地の価格高騰加速～          りゅうぎん総合研究所研究員 及川 洋平(おいかわ ようへい)          ・<b>GDP 三つの側面</b> ～経済活動 理解しやすく～          りゅうぎん総合研究所常務取締役 照屋 正(てるや ただし)          ・<b>18年度労働力調査</b> ～労働市場は顕著に改善～          りゅうぎん総合研究所専務取締役 久高 豊(くたか ゆたか)          ・<b>ソニー坊や</b> ～西原のアイドル的存在～          琉球銀行西原支店長 富本 隆(とみもと たかし)</p>	
<p><b>経営情報 外国人労働者の活用と雇用管理</b> <span style="float:right">55</span>          ～2019年4月から外国人雇用管理に関するガイドラインが改正されました～          提供 太陽グラントソントン税理士法人</p>	
<p><b>経済日誌 2019年5月</b> <span style="float:right">57</span></p>	
<p><b>県内の主要経済指標</b> <span style="float:right">58</span></p>	
<p><b>県内の金融統計</b> <span style="float:right">60</span></p>	

経営  
トップに聞く

“空港から、リゾート、はじまる。宮古島圏域の魅力を一宮内外に発信する新たな玄関口。”

Gateway to the Coral Island



みやこ下地島空港  
ターミナル  
MIYAKO SHIMAJIRI  
AIRPORT TERMINAL

下地島エアポートマネジメント株式会社  
とも の けんたろう  
伴野 賢太郎 社長

下地島エアポートマネジメント株式会社は2018年1月に、下地島空港の旅客機乗入れ再開に向けた旅客ターミナルの運営を行うことを目的に設立された。現在、同社には三菱地所株式会社、株式会社國場組と双日株式会社が出資している。同飛行場は1979年国内唯一の航空会社のジェットパイロット養成の実機訓練飛行場として開港されたが2014年には大手航空各社による訓練利用が終了し、その後、スポットでの利用はされるものの訓練数は大幅に減少。その利活用が求められていた中、三菱地所株式会社が施設所有者として旅客ターミナルを整備、竣工し、2019年3月から同社がその運営を開始することになったもの。今回は、3月に開業した空港ターミナルをお訪ねし、伴野賢太郎氏に同社のこれまでの歩み、事業内容、経営理念、今後の展開などをお聞きした。

インタビューとレポート 大谷 豊

### 御社の設立経緯やこれまでの歩みを聞かせてください。

当社は、宮古島市の下地島空港の旅客ターミナル施設の管理・運営を担う会社として2018年1月に設立されました。

1960年代後半より世界的に本格的なジェット化時代を迎えて空港需要が高まりました。当時の日本では、ジェットパイロット養成のための訓練飛行場がなく、米国で訓練を受けており、国内での訓練飛行場設置が望まれていました。そこで当地、下地島空港が1979年に開港され、民間航空会社のジェットパイロット養成の実機訓練飛行場として使用されることとなりました。

その後、民間航空会社が乗り入れ、路線も設置されましたが、1994年には運休され、以後定期便乗り入れはなく各航空会社の訓練飛行場として利用されるのみにとどまっていました。そして、フライトシュミレーターなどの訓練機器の進歩により、当空港の訓練飛行場としての利用も減少し、2014年の大手航空会社の訓練撤退以降はその利用数は大幅に縮小され、地元の宮古島市や沖縄県よりその利活用が求められていました。

時を同じくして、当社の親会社である三菱地所株式会社は2011年の法改正を受け、国内での公共施設の所有権は国や自治体に残し、施設そのものの運営を民間企業が担う空港の“コン



セッション方式”の検討を進めておりました。借地方式での提案でありコンセッションとは形態が異なるものの下地島空港の利活用についても沖縄県に提案を行いました。宮古島の豊かな自然や特異な地域文化等に観光資源としての無限の将来性を見出したからです。しかも、下地島空港は国内地方空港としては稀な3,000メートルの滑走路を有しており、既にその基礎的な資源は申し分なく期待の持てるものでした。

お陰様で2015年3月に「下地島空港および周辺用地利活用事業」の事業候補者に選定され、2017年3月に沖縄県と基本合意契約書を締結した後、2018年1月に当社を設立、新ターミナル施設を整備、運営することとしたのです。

地元の知見を活かす意味から株式会社國場組と航空事業に詳しい総合商社の双日株式会社にも出資を頂き当社の運営を行なっております。

社名は当空港の従来からの名称を冠したのですが、新ターミナル名には、国内外からの利用客に宮古圏域にある下地島の空港施設であるとの認識をし易いように「みやこ下地島空港ターミナル」と命名しました。

2019年3月開業を迎え、24年ぶりに下地島空港に定期便就航が復活することとなりました。

## 事業の概要をご紹介いただけますか。

当社の業務はみやこ下地島空港ターミナルの施設運営を中心に、施設内の物品販売業（含む免税

店）/ 飲食業と下地島空港を利用するエアラインの誘致業務及びこれらの関連業務となります。

○みやこ下地島空港ターミナルの運営：当施設の運営全般を担っています。保安検査業務や様々な機器の整備・維持管理、消防・清掃等は別途、下地島空港施設株式会社に委託しております。

○ターミナル内での物品販売：ターミナルのお土産等の物販店舗、免税店舗、飲食店舗は直営、飲食店は運営委託をしています。

飲食店の運営委託先は県内でホテル業を運営する沖縄UDS株式会社になります。旅の始まりから終わりまで宮古の食の魅力を伝えられるよう、地元食材を使った食事や飲み物等をチェックイン棟とラウンジ棟の両方で提供して貰っています。チェックイン棟のカフェは、飛行機を利用しない地元客や観光客も利用できるものです。

物販店でも商品の半数以上を宮古諸島内のメーカーや生産者から仕入れています。

飲食・物販の両面から地元の食文化や情報を発信する場として、空港ターミナルにとどまらない地元、宮古諸島のアンテナショップのような店舗を目指し地元の活性化へ貢献したいと考えています。

○エアラインの誘致業務：当業務は、自治体等の行政が行う場合も多くありますが、当社では、専担の営業チームを組織し行政の支



7月より就航が決定した香港エクスプレス



待合ラウンジ



チェックイン棟



国内線出発エリア

援をいただきながら協働の上、誘致を図っています。

開業と同時にジェットスター・ジャパンが東京（成田）から定期便就航（最大1日1往復）し、今年7月からは大阪（関西）から定期就航（最大1日1往復）することになっています。今後、これらの地域に加えて、中部圏 / 九州圏 / 那覇との定期便の就航を目指しています。成田空港でのジェットスター・ジャパンは国際線からの乗り継ぎが便利なターミナルを利用しており、海外からの観光客の増加も見込めるものとなっています。

また、国際線では大韓航空が5月、6月にチャーター便を運航し、7月からは香港エクスプレスが香港と下地島間で初の国際定期便就航（週3往復）することになっています。

当空港の立地を考慮した場合、ソウル、上海、香港、台北などへの直線距離は東京より至近となりますので、これらの都市が先ず国際線のターゲットとなりますが、同時にそれらの空港は世界のハブ空港でもありますので乗換需要も将来的には取り込めるものと考えております。

### リゾート感満載のターミナルビルの特徴についてお聞かせください。

世界最大級の旅行口コミサイトであるトリッ

プアドバイザーによる「2019 日本国内での美しいビーチ・ベスト 10」に宮古島の3カ所のビーチが1、2位と10位に選ばれる程「海」の美しさが際立つ宮古諸島にあるターミナルビルとして、自然をふんだんに堪能頂ける施設を目指しました。

当空港のキャッチフレーズ“空港から、リゾート、はじまる。”は、「宮古ブルー」といわれる、海と空の区別が付けられない程の青い空から下地島空港に向け着陸するという驚きと感動を、降機した後もそのまま感じていられるような工夫を凝らしました。建物は平屋建てで、空港到着から出発の瞬間まで、宮古諸島の魅力である自然の光と風を存分に体感できるよう、オープンエアの空間づくりを行いリゾートの雰囲気溢れる施設としました。

施設の中央には水盤を設置、チェックイン、保安検査通過後は水上ラウンジで寛げ、国内・国際線ともに出発、到着の動線はほぼ一直線でスムーズに手続きを済ませるように設計しています。飛行機へのアクセスも基本、徒歩で中庭を通り搭乗、到着時も中庭を通りターミナルに移動する流れとしています。

また、当施設は宮古島市が推進している「エコアイランド宮古島」に相応しい取組として、“ネット・ゼロ・エネルギービル（ZEB）”に取り組んでいます。深い庇による日差し遮蔽やオープンエアで自然換気による熱負荷の削減の



宮古諸島の食材をふんだんに使うカフェ



宮古諸島の魅力満載のお土産品店



CLT を多用したチェックイン棟



水上ラウンジで搭乗まで寛ぐ

ほか、気化熱空調システムも採用しています。国が基準とするビルに比較して一次エネルギーを68%削減する計画です。経済産業省が定めるZEBの第一段階「ZEB Ready」と、BELS（建築物省エネルギー性能表示制度）では最高ランクの認定を受けています。

更に、空港ターミナルとしては全国で初めてCLT材（直交集成板）という板の方向が層ごとに直行するよう重ねて接着した大判のパネルを屋根の構造材に使用しています。CLTは1995年頃からオーストリアを中心に発展している新しい構造材で強度は実証済みで、今後国内での普及が見込まれています。当CLTは沖縄県が定める地域材を使用しており地域の森林、林業再生にも貢献するものです。

ハードの検討にあたって参考としたのは、タイのサムイ空港、ハワイのコナ空港です。特に、サムイ空港は宮古島と似た離島で、近年リゾート開発が進む場所です。海外からの訪問客の1位がドイツ人（2位；中国人、3位；イギリス人）という特徴もあります。同空港への欧米からの直行便がない中でもハブ空港経由で、サムイ島の自然や同地での様々な体験を求める旅行者が多いのです。宮古島圏域での今後の観光資源等を検討する上で、海外の先行事例としても参考になると思われます。

## 経営理念、事業運営の考え方などについてもお聞かせください。

当社の経営理念は、先に述べた設立キャッチフレーズと次の理念です。

“宮古諸島を愛し、愛され、宮古諸島のために”  
これは、企業としては当社のターミナル運営や関連の事業活動を通じ、また、当社社員としての個人としても、宮古諸島の発展に向け、誠実でクリーンな姿勢でグローバルなチャレンジを続けようというものです。

そもそも、当社は三菱地所の子会社で三菱グループの1社となります。三菱には“三菱の三綱領”という三菱本社第四代社長・岩崎小彌太氏が唱えたものがあり、それをベースに当社の経営理念も制定いたしました。

三綱領をご紹介します、  
「所期奉公」～期するところは社会への貢献～  
：事業を通じ、物心共に豊かな社会の実現に努力すると同時に、かけがえのない地球環境の維持にも貢献する。  
「処事光明」～フェアプレイに徹する～  
：公明正大で品格ある行動を旨とし、活動の公開性、透明性を堅持する。  
「立業貿易」～グローバルな視野に立って～  
：全世界的、宇宙的視野に立脚した事業展開を図る。  
というものです。



旅のはじまりから終わりまでリゾート感、自然光を楽しむ中庭



北側上空から望む下地島空港

### 社会貢献活動として何か取り組まれていることはありますか。

宮古島には宮古空港がありますので、下地島空港は第二の玄関口となりますが、経営理念で示すように宮古諸島のための活動、宮古島圏域の活性化につながるよう宮古空港とは共存共栄を目指します。当社が進める国際線誘致も地元の受入体制確立が前提です。旅客向けのハード、ソフト両面での受入体制整備も然り、同時に宮古諸島の自然を求めて来島される訳ですから自然保護も重要と捉え、地域と協働しながら活動していきたいと考えています。

当社の設立を契機に三菱地所グループとして地元のNPO法人や日本自然保護協会と組み、自然保護やビーチクリーンなどの活動に取り組んでおり、今後も続けていくつもりです。

### これからの取り組みや事業展開についてお話しいただけますか。

冷めた言い方をすると空港ターミナルは飛行機を利用する方が通過する場所であり最終のデスティネーションではありません。従って、肝要となるのは、ホテル/アクティビティ/二次交通/飲食物販など地元の観光産業の方とタッグを組んで島全体を盛り上げることだと思います。

一方、観光で来られた方の多くが使用する施設でもある事からリゾート感を堪能頂くと同時

### 企業概要

商号：下地島エアポートマネジメント株式会社

本社所在地：沖縄県宮古島市伊良部字佐和田1727番地

連絡先：0980-78-6365（本社代表）

URL：<https://www.shimojishima.jp>

設立：2018年1月（平成30年）

役員：代表取締役社長 伴野 賢太郎

事業内容：・空港旅客、空港貨物及び航空事業者に対する役務の提供  
・空港ビル並びに空港ビルに付帯する施設、設備、器具の賃貸業  
・飲食物、加工食品、旅行用品、観光用土産物品等の販売業  
・食堂及び喫茶店の経営  
・その他上記に付帯関連する事業他

に、宮古諸島の豊かな自然や様々な食材・物品、文化を国内外に積極的に紹介、情報発信できる場にしていきたいと考えています。

エアライン誘致に関しても沖縄県・宮古島市・沖縄観光コンベンションビューロー・宮古島観光協会他、地元の方とタッグを組み、定期便やチャーター便の就航に向けた営業活動を進めていく予定です。また、株主の1社である双日株式会社はビジネスジェットに係る知見も豊富にありますので情報を共有の上、受入体制を整備していきたいと考えています。

2015年開通した伊良部大橋の追い風効果もあり下地島、伊良部島と宮古島のアクセスも良くなりました。宮古港の大型クルーズ船用バース整備により今後はフライ&クルーズへの取り組みの必要性も見込まれます。今後ますます宮古諸島の認知度が国内外に広まるなか、当社のターミナルが名実ともにリゾートとなるよう邁進して参ります。

沖縄県はこの度の当ターミナル開業による利用旅客数目標を2021年度には30万人と定めています。早期達成を目指したいと考えています。今後とも宜しく願い申し上げます。

# 株式会社オムニバスワンダーラボ



誰かを想い、その人にとってより便利でより良い環境となる“思いやりから生まれるアイデア”を形にする。



名嘉真 一 社長

## 事業概要

○代表者	な か ま り よ う い ち 名嘉真 一
○設立	2013年(平成25年)10月
○事業内容	Webサービス企画/構築/運用 モバイルアプリ開発、業務系システム開発、IoTシステム開発
○住所	沖縄県豊見城市与根49-8 2階
○T e l	090-7290-8468
○U R L	<a href="https://omwonlab.com/">https://omwonlab.com/</a>
○社員	4人

## 起業への道のり

代表の名嘉真氏は学校卒業後、一人東京で希望したIT企業に就職。毎日の通勤や雑踏にもまれながらも望まれる人から便利だ良かったと喜ばれるソフト、技術、製品をつくる事を夢見て踏ん張った。しかし、2011年3月、東北大地震発生、影響で首都圏も混乱に陥った。家族、友人との連絡も一時途絶える程だった。人との繋がり、横との繋がりが強い業界にいたこともその有り難さを感じさせられた経験だったという。

今の仕事は、なにも東京でなくてもできるのではないかと、東京にこだわる理由は無い、と考え帰郷を思い立った。

沖縄でもIT関連の会社に就き、それまでの経験を活かし何か新しいことがしたいと仲間との自立独立をすることを決意。2013年に同社を設立。

社名はギリシャ神話で、知恵と技術の象徴という意味のフクロウの英語表記「OWL」を文字って命名。「O」はオムニバスで、全ての人のために色々なものが集まる意味で、「W」はワンダー、驚きや不思議な思いの意、「L」が

ラボで、研究所や実験それらの場所であるとする造語となっている。「色々な人が集まる事で、全く新しいものが作れる」というコンセプトだ。メインはスマホのアプリ開発・製作の会社だ。起業翌年、那覇市が若い起業家を育てる目的で主催した「ビジネスプランコンテスト」で最優秀賞を受賞するほど確かな技術力を誇っている。また、若者向けセミナー等での講師として講演を実施する業界の顔の一人だ。

## アプリ開発のエキスパート！

同社は携帯電話等で使用できるアプリの開発では数多くの実績を誇り定評がある。現在、携帯電話の主流であるスマートフォンに搭載される主要なOSは、アンドロイド、iOSであるが、その両方に対応したアプリ開発が出来るのが同社だ。県内はもとより国内でも引けは取らないレベルの技術力を誇っている。

○「あいうえおばずる」：幼児向け知育アプリで、ひらがなをパズルゲームとして遊びながら学習することが出来るもの。代表が自身の子どもにひらがなを覚えさせようとして思い付き、アプリ開発につながったものだ。もちろんアンドロイド、iOS両方で使える。

代表によると、今後は学習の在り方自体が変わるのではと予測、様々なアプリを利用する事で場所・時間を問わない学習形態になると予測する。

○「見守るさん」：これはiPhone専用だが、子どもを見守るためのもの。親子それぞれが持つ



思い付いたアイデアを活かす事務所



あいうえおばずる



思い付いたものを形にする 3D プリンター



那覇市長賞を受賞

見守るさん



IT セミナーでの講師

iPhone が一定距離、離れると知らせるもの。また、遠く離れたところからでも状況確認が可能となる「独居老人見守りシステム」は一定期間動きが察知できない場合、安否確認の必要性を登録者へ一斉メールするものもある。

○中古車等検索アプリ：大手中古車屋の検索や自動車整備工場等の検索アプリも手掛けている。

その他では、琉球大学との連携で睡眠の質を向上させることで脳の活性化を促し、学習成果の向上を狙うアプリ開発にも取り組んでいる。

### ホームページの製作等のお手伝いも

企業、個人を問わず、ホームページ作成で困ったら同社へ問い合わせを。ホームページ製作の豊富な経験からお堅い建設会社からおしゃれなサロンのサイトのデザイン作成までこなす。

また、通信販売目的の EC サイトや企業間 SNS システムなどの企画・構築・運営までトータルサポートしている。

さらに、自社サイトを Google などの検索サイトで最上位に表示される「リスティング広告」出稿の相談やコンサルも行なっている。効率良い広告を検討中の先は要連絡、一度同社に相談してみることも一計だ。

### 3Dプリンターやインターンシップ受入で啓蒙活動も展開中！

子ども達の集まる場所に出向き、3D プリン

ターを使い IT に興味を持たせる活動もしている。パソコンで自分の作りたいものをデザインさせ、実際にそれが形として出来上がる驚きと喜びを与え、興味を引く仕組みだ。中学生のインターンシップ受入も行なっている。簡単なゲームの作り方などを体験してもらって評判も上々。「将来はワンダーラボで働きたい！」とまで言ってくれなくても「名嘉真社長と同じような仕事がしたい！」と言う後輩が現れるのが何より嬉しいと代表は言う。正にこの仕事は世のため、人のために役立つものとしたいとの思いが伝わる。

### 今後の取り組み

豊見城与根にある自宅兼事務所の同社は2階、1階は奥様が経営するまつげのエクステサロン。サロンの看板だけの建物だが、これは代表の考えで「我が社は頭脳と技術の集団です。事務所や看板ではなく皆様に提供できるモノで勝負する会社です、電話やメールがあれば足ります。常に何か人の役に立つモノを考え出したい、創りたい。ITにより世の中は便利になってますが、これからはネットワークの構築だけでなく、ものに付加価値を付けられる IT 技術を磨いていきたい」静かだが、起業時のベンチャー精神はそのまま健在、旺盛だ。現在、不動産と IT を絡めた企画を進めているという。次はどんな開発をしてくれるか楽しみなワンダーラボだ！（レポート 大谷 豊）

※沖縄科学技術大学院大学のHPから許可を得て転載した記事です。

# 新時代の教育研究を切り拓く

～沖縄科学技術大学院大学の取り組みについて～

## クラゲをクラゲたらしめるものとは？



透き通るクラゲ、色とりどりのサンゴ、海底でたゆたうイソギンチャク。見た目は全く異なりますが、これらはすべて動物の系統樹の中で同じ部類に属しています。実は、クラゲも成長の初期段階では、サンゴやイソギンチャクのように海底に固着しています。この度、沖縄科学技術大学院大学（OIST）の研究者たちは、クラゲが固着の段階を卒業し、海中へと泳ぎ出すための遺伝子群を突き止めました。

クラゲは成長の初期段階において、幼生からポリプに変態します。ポリプは動かず、花の茎のような構造で、海底の堆積物に付着します。イソギンチャクとサンゴはこのポリプの状態で一生涯を過ごすため、ギリシャ語で「花の動物」を意味するanthozoa（和名：花虫綱）と呼ばれます。これに対し、クラゲは花虫綱には属さず、ポリプ世代からクラゲ世代に変態し、なじみのある、発光するベル型の姿に変わります。



ポリプからクラゲへ  
クラゲの発達は固着性のポリプから始まり、環境条件が整うとクラゲに変態する。写真はクラゲへの変態を始めたヒクラゲ。提供: OIST

今年4月15日発行（日本時間4月16日）の*Nature Ecology & Evolution*誌に掲載された本研究で、研究チームは2種類のクラゲのゲノム（全遺伝情報）を解明し、ポリプ世代に留まる生物と、クラゲ世代に変態する生物に分かれる理由を示しています。このゲノムはオンライン上で閲覧でき、OISTのBLASTサーバー上で他の種と比較することができます。

### 新たに解読されたクラゲのゲノム

OIST研究チームは日本とドイツの研究者らと共同で、ミズクラゲとヒクラゲのゲノムを比較しました。ヒクラゲは強い毒を持ち、刺されると焼けるような痛みを引き起こすことからその名前がつけました。

「2種類のクラゲのゲノムを比較することで、クラゲ世代に進むための普遍的ルールを見つけたいと考えました」と話すのは、本研究論文の筆頭著者であり、佐藤矩行教授が主宰するOISTマリンゲノミクスユニットのコンスタンチン・カールツリン博士です。クラゲがポリプのステージを終えて海底を離れるとき、異なる遺伝子を制御

するスイッチがオンになり、変態を促します。この変態に関わる特別な遺伝子を特定するために、研究者たちはまず、サンプルのクラゲ種の全遺伝子のカタログを作りました。

「その後、これらの遺伝子が生活環のポリプ世代とクラゲ世代の各ステージで、どのようにふるまうかを観察しました」とカールツリン博士は説明します。

博士らは、バルト海のみずクラゲと日本のヒクラゲの全ゲノムシーケンス解析を行いました。ゲノムは、生物を形成し維持するために必要な設計図であり、その情報は遺伝子という個々のブロックにコードされています。生物の遺伝的組成と、これらの遺伝子の配列によって、その生物の発生が決定します。さらに博士らは、この度新たに解読したクラゲのゲノムを、サンゴとイソギンチャクのゲノムと比較し、各生物にどの遺伝子がどのように発現するかを突き止めました。



みずクラゲ（水クラゲ）  
OISTマリンゲノミクスユニットの研究によって、みずクラゲのゲノムは、ヒクラゲよりむしろ、サンゴやイソギンチャクに近いことが明らかになった。提供: OIST

「この2種類のクラゲのゲノム構成は、イソギンチャクやサンゴとの比較よりも、類似性が高いだろうと予測していました」とカールツリン博士は話します。しかし驚いたことに、みずクラゲの遺伝子の順序は、ヒクラゲよりも花虫綱の方にかなり似ていることがわかったのです。みずクラゲとヒクラゲの遺伝的組成にはほとんど一致が見られず、その違いはヒトとウニのゲノム比較ほどかけ離れていました。

## 何が違いを引き起こすのか

解析の結果を見ると、ヒクラゲのゲノムは進化の途中で大幅な再編成を行ったと思われる。研究者たちは、みずクラゲとヒクラゲのゲノムに類似性が認められなかったことから、クラゲのゲノムの中には、クラゲ世代への変態を指揮する普遍的な遺伝子領域は存在しない、と考えました。



若いヒクラゲと大人のヒクラゲ  
ヒクラゲに刺されると、患部に焼けるような激痛が走る。この有毒な刺胞を持つことで、日本語でつけた名前は「火クラゲ」。提供: OIST

しかし、ここで1つ疑問が残ります。サンゴとイソギンチャクは、なぜクラゲ世代に変態しないのでしょうか。

博士らはこの謎を解き明かすために、みずクラゲとヒクラゲのポリプ世代とクラゲ世代において、どの遺伝子が活性化しているかを調べました。そして、この2種類のクラゲの特徴的な遺伝子発現パターンを、花虫綱とクラゲが属する刺胞動物の別の11種の発現パターンと比較しました。驚くべきことに、みずクラゲのクラゲ世代で働く遺伝子のうち、約3分の2がサンゴとイソギンチャクにも見つかりました。

しかし、みずクラゲは特殊な遺伝的手段を持ち合わせていることが分かりました。まるで優れた貯蔵兵器のように、クラゲ世代に入ると活性化する遺伝子で、これは花虫綱には存在しません。サンゴとイソギンチャクはクラゲ世代に変態しないため、泳ぐための筋肉や目など、特定の組織や器官に成長する遺伝子を持ちません。研究者らは、クラゲ世代に入って初めてスイッチが入る、これらの種に固有の遺伝子のうち、およそ100の遺伝子がみずクラゲとヒクラゲに共通していることを発見しました。これらの遺伝子の大部分は、遺伝子発現の時期と量を制御する転写因子をコードする遺伝子です。

博士らは、次に、沖縄に生息するハブク

クラゲのゲノムのシーケンス解析を行い、ヒクラゲとより厳密に比較することを目指しています。今後さらに研究が進めば、クラ

ゲの進化の仕方や、クラゲがなぜ花虫網や他の海底生物と異なるかについて理解できるかもしれません。



ハブクラゲ

OISTマリンゲノミクスユニットは現在、写真の大型ハコクラゲと比較するために、沖縄に生息するハコクラゲの1種のゲノム配列決定を進めている。2種のゲノムを比較することで、ハコクラゲがどのように進化してきたか、また、ハコクラゲと他のクラゲを分けるものは何であるかが解明されるかもしれない。

提供: 戸篠祥博士 (論文共著者)



OISTではキャンパスツアー(ガイド付もしくは自由見学)を行っています。詳細は地域連携セクション 098(966)2184 までお問い合わせください。

OISTについてより詳しくお知りになりたい方は[www.oist.jp](http://www.oist.jp) をご覧下さい。

## DMO 2018 年度事業実績概要



本稿は紙幅の都合上、先月号と今月号の2回に分けてお送りさせて頂いております。今月号はOCVBのDMO推進実績のうちデジタルマーケティングの推進、関係団体との連携強化についてご説明いたします。

### OCVBのDMO推進実績

2018年4月、OCVBは将来を見据えて観光地域づくりの主体となるDMOを推進する専門部署として経営推進室を新たに設置しました。経営推進室では日本版DMO創設の背景を意識しながら1.地域の「稼ぐ力」を引き出すための人材育成、2.デジタルマーケティングの推進、3.関係団体との連携強化に注力し、全県的な「稼ぐ力」を持った観光地域づくりの推進に取り組みました。今月号では2.のデジタルマーケティングの推進からさせていただきます。

### 2. デジタルマーケティングの推進

観光庁 平成30年度広域周遊観光促進のための新たな観光地域支援事業「デジタルソリューションを活用したディスティネーションデジタルマーケティング実践のための調査業務」を実施しました。

OCVB自らデジタルマーケティングを実践可能とするための業務フロー構築を目指し、下記の仕様に沿って2018年9月から2019年3月にかけて調査業務を行いました。

- (1) 市町村レベルの施策展開に活かせるデータの収集、分析
- (2) 訪日外国人旅行者のWeb誘導及びターゲットごとの閲覧回遊分析
- (3) 訪日外国人旅行者の流入に関する調査
- (4) 今後ターゲットとすべき訪日外国人旅行

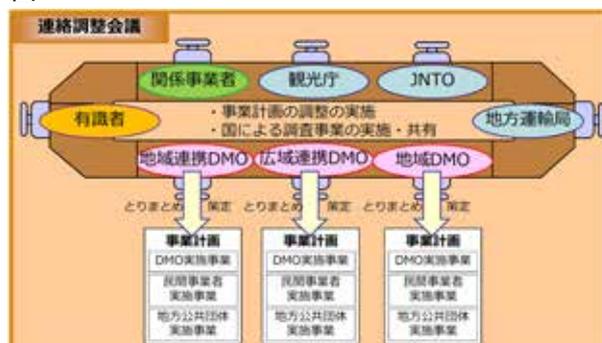
者の行動に関する調査（観光アナリティクス（ビックデータ・AIソリューション等の分析ツール）の活用）

(5) 上記(1)から(4)に基づくデジタルマーケティング実践のための業務フロー構築以上の調査を通じ、沖縄観光アナリティクスシステムという分析ツールを構築し、デジタルマーケティングを実践するための業務フロー（手順書）を完成させることができました。

業務フローの完成はOCVBが全国の先頭に立ってデジタルマーケティングを実践できる基礎固めとなり、高度なデジタルマーケティング業務を遂行できる強力なツールを得たことになりました。

また、広域周遊事業では連絡調整会議と呼ばれる会議体が運営され、OCVBは広域連携DMOとして観光庁、沖縄総合事務局、JNTO等と連携し会議の運営に携わりました（図1）。

図1



出典：観光庁連絡調整会議

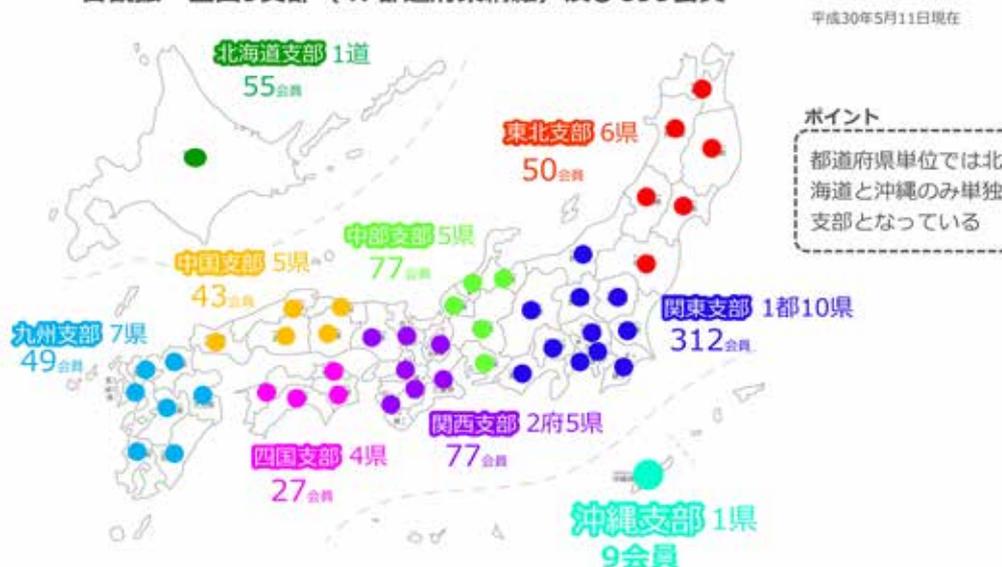
### 3. 関係団体との連携強化

(i) 2018年6月、(公社)日本観光振興協会(以下日観振)沖縄支部がOCVB内に設立されました。日観振とは我が国の観光振興に関する中枢機関としての役割を果たし、観光先進国の実現を図ることが求められている組織です。国や地方自治体、観光協会、観光関連企業・団体

のみならず観光に関わるあらゆる産業との連携を図り、オールジャパン体制のもと、より具体的な行動計画を立案し、積極的に事業を行っていくことを目指しています。2018年5月現在、全国9支部、699会員からなり、OCVBは9番目の支部としてスタートを切りました(図2)。

図2

#### ・日観振 全国9支部(47都道府県網羅)及び699会員



出典：観光庁連絡調整会議



6/12(火)支部総会記念写真 沖縄県市町村自治会館

(ii) 2018年7月には日観振沖縄支部設立及び日本版DMO正式登録記念シンポジウムを初開催しました。テーマは「武道ツーリズムを通して世界から選ばれるスポーツアイランド沖縄になるために」と題し、空手発祥の地・沖縄を

どのように世界に発信していけばいいか、受入体制の整備の必要性等様々な角度から貴重なご意見を頂きました。同年3月、スポーツ庁では「スポーツツーリズム需要拡大戦略」を打ち出しており、その中に新規重点テーマとして「武道ツーリズム」が設定されたことも後押しし、日本で初めてとなる武道ツーリズムのシンポジウムとなりました。

有識者からは「沖縄は空手ツーリズムのムーブメントを巻き起こす要素がある」、「武道ツーリズムを振興すれば最強のリゾート地になる」、「空手イコール沖縄の認識を広く発信することがリゾート地としての沖縄観光に奥行を与える」といった力強いお言葉を頂きました。



シンポジウムチラシ



7/24(火)シンポジウム風景沖縄空手会館

(iii) 2018年10月、JNTO(日本政府観光局)・マーケティング研修会 in 沖縄開催に協力しました。



10/18(木)デジタルマーケティング研修



10/18(木)登壇者記念撮影

JNTOは、世界の主要都市に海外事務所を持ち、日本へのインバウンド・ツーリズム(外国人の訪日旅行)のプロモーションやマーケティングを行っています。JNTOと各組織の関係性は下図のようになっており、OCVBは前出の連絡調整会議(図1)やマーケティング研修会、事業内容の共有等JNTOと非常に密接な関係を築いています(図3)。

図3



出典：JNTOプレゼンテーション資料より

おわりに

2019年度、DMO推進業務を担ってきた経営推進室は企画・施設事業部にその業務を引き継ぎ、新たな体制でDMOを推進することとなりました。2018年度に培った多様かつ有用な知見を最大限に活用し、中央省庁や関係団体とのさらなる連携強化を通じ運用実績を積み上げるとともにDMOに係るノウハウを蓄積し、OCVBの国内における広域連携

DMOとしての地位を確固たるものとする  
ことを目指します。

最後に、OCVBではすべての職員に理念  
カード＝クレドを配布しています。ここに  
あるひとつひとつの言葉に込められた想いを胸  
に、また日本版DMOの意義を念頭に置きな  
がら地域への誇りと愛着を醸成する「観光地  
経営」の視点に立った観光地域づくりを目指  
してまいります。

### OCVBのPhilosophy

沖縄観光のプロフェッショナルとして県経済  
発展の推進役を担い、観光を通じた県民の幸せ  
づくりに貢献します。

### OCVBのVision（一部抜粋）

沖縄観光の専門家集団として関連企業や団体  
と手を携え、県民とともに持続可能な観光地づ  
くり邁進します。



理念カード（クレド）

### OCVBのAction（一部抜粋）

経営理念やビジョンを共有し、マーケット  
ニーズに即応した戦略的で効果的な、クオリ  
ティの高い事業を展開します。前例にとらわれ  
ず常に創意工夫して、市場や関連企業・団体と  
一体になり付加価値の高い事業を実施していき  
ます。

これからもOCVBのDMO推進にご理解、  
ご協力をお願い申し上げます。

#### 【お問い合わせ先】

(一財) 沖縄観光コンベンションビューロー  
企画・施設事業部企画課  
担当：酒井  
Tel:098-859-6126 Fax:098-859-6221  
Mail:kikaku@ocvb.or.jp

## 沖縄県の未来を考えるシンポジウム

# プレミアム沖縄創生戦略

## ～観光1,000万人時代の先を見据えて～

九経調創立70周年事業 沖縄県の未来を考えるシンポジウムでは、「プレミアム沖縄創生戦略～観光1,000万人時代の先を見据えて～」と題して、観光を含めた沖縄の地域づくりの未来戦略について「プレミアム」をキーワードとして議論を深めました。

基調講演では中央大学の山崎朗教授をお招きし、世界各地・日本各地のプレミアムをキーワードとした取り組みを紹介しつつ、プレミアムの意義や潮流についてお話いただきました。また、沖縄のプレミアム戦略について、沖縄が持っている卓越した唯一無二の自然資源や文化資源の価値の発見と創造を進めることが必要だという提言もいただきました。

日時／2019年2月27日（水）14:00～17:00  
場所／ANAクラウンプラザホテル沖縄ハーバービュー  
—（那覇市泉崎2-46）  
主催／（株）琉球銀行、（株）りゅうぎん総合研究所、  
（公財）九州経済調査協会

パネルディスカッションでは、沖縄県で観光分野の事業や調査に従事するりゅうぎん総合研究所の照屋社長、沖縄ツーリストの東社長、前田産業の前田社長から、プレミアム化の取り組みや、沖縄観光のプレミアム化に向けた課題や提案をご紹介いただきました。

### シンポジウム概要

#### 第1部 基調講演「プレミアム地方創生と沖縄」

講師：山崎 朗 氏（中央大学経済学部 教授）

#### 第2部 パネルディスカッション

テーマ「プレミアム沖縄創生戦略～観光1,000万人時代の先を見据えて～」

パネリスト	東 良和 氏	沖縄ツーリスト（株）代表取締役会長、日本旅行業協会 理事 観光庁 Visit Japan 大使
	前田 裕子 氏	（株）前田産業 代表取締役社長、（公財）名護市観光協会 理事長
	照屋 保 氏	（株）りゅうぎん総合研究所 代表取締役社長
アドバイザー	山崎 朗 氏	中央大学 経済学部 教授
コーディネーター	鍋山 徹 氏	（一財）日本経済研究所 専務理事（代表理事） 新産業創造業務統括 兼 地域未来研究センター・エグゼクティブフェロー

## 第1部 基調講演

テーマ「プレミアム地方創生と沖縄」

講師：山崎 朗氏  
中央大学経済学部教授

▶1957年、唐津市生まれ。2000年九州大学経済学研究院教授を経て、05年より中央大学大学院経済学研究科教授。専門は経済地理学、産業配置論。福岡市国際化推進懇談会会長（福岡市）、首都圏グローバル空港研究会座長（JAPIC）、東京都国土利用審議会委員（東京都）、国土審議会政策部会委員（国土交通省）、沖縄科学技術研究都市形成に関する検討会委員長（沖縄県）、沖縄における国際物流拠点の形成施策検討調査委員会委員（内閣府）、沖縄における地域クラスターの形成施策展開方向検討調査委員会委員（内閣府）などを歴任。



### はじめに

私は「国土の末端を国土の先端に」をモットーとして長年地方創生に取り組んでおり、国土の最南端である沖縄も研究フィールドの1つとしてきました。

第2部シンポジウムコーディネーターの鍋山さんとは『地域創生プレミアム（付加価値）戦略～稼ぐ力で上質なマーケットをつくり出す～』（2018年、中央経済社）という本を共同で出版しましたが、その帯紙には鍋山さんの元部下である藻谷浩介氏に「ただ一つの決断が、地方経済の未来を変える。プレミアムを狙うか、狙わないか。」という言葉を書いてもらいました。本講演も、様々な観点からプレミアムと地方創生について考えてみたいと思います。

### 沖縄を下支えする空港インフラ

今、世界が沖縄に注目しています。昨年、TripAdvisorの「人気上昇中の観光都市ランキング」で石垣市が世界1位に選ばれ、また外国クルーズ船の県別寄港回数も沖縄県が1位になりました。このほか、人口から沖縄をみても、八重山地域は1970年代より増加傾向にあ

ります。宮古地域についても、減少のペースが大分緩くなってきましたが、人口が増えている日本の離島というのは、現在とても珍しい存在です。その要因を考えると、自然が豊かである、観光資源や漁業資源が多いといった点もありますが、最大の要因は、空港と港がしっかりと機能を果たし、国内外問わず外の地域と結びついていることです。全日空の沖縄貨物ハブからも分かる通り、沖縄はユニークな位置にあります。

私は地方を活性化する道として、空港と港湾の活用が重要だと考えています。沖縄貨物ハブは、現在は成田、羽田、関西、北九州とソウル、台北、上海、香港、バンコク、シンガポールを結びつけていますが、今後は秋田や高知などの地方空港から貨物を受け入れ、本当の意味でのハブの役割を果たしてゆくことが重要です。成田、羽田、関西は海外の各都市との国際線を自前で就航しており、わざわざ沖縄を経由する必要性はありません。これからはグローバル化への対応に苦慮する日本の地方を沖縄が救うことを期待しています。

那覇空港の滑走路増設は、2020年3月に迫っています。2019年3月には、三菱地所（株）（東京都千代田区）の主導により下地島空港の新ターミナルが開業予定です。離島の3,000m級滑走路の活用は大変魅

## プレミアム沖縄創生戦略～観光1,000万人時代の先を見据えて～

力的で、LCCから就航するという点は少し残念な気もしますが、将来は富裕層のプライベートジェットが離着陸するような空港に是非ともなってほしいです。

### 日本・世界の「プレミアム」

私は空港や物流のほか、幾つかの委員会で沖縄の産業集積や産業立地についても取り組んだことがあります。そのなかで「コールセンター」については、2000年頃より沖縄での産業集積が顕著となり、現在まで沖縄と北海道で先行する状態が続いています。北海道ではAmazonのコールセンターを見学したことがありますが、内装は机や椅子、マグカップまでも全てアメリカと同じもの、従業員も半ズボンとTシャツで働いていました。立地決定について話を聞いたところ、一般的な考えでは、コールセンターは電話回線とインターネット回線さえあれば古いビルでも構わないとなりがちですが、Amazonからみると、セキュリティを中心に自社の基準を満たしたビルは、札幌内には最新鋭の1棟しかなかった、と話していました。このAmazon進出が1つの広告塔となり、その後北海道にコールセンターが多く立地することとなりましたが、この見学を通して、これからは良いものを整備しなければならない、安ければいいという時代は終わったと強く感じました。

「プレミアム」について、各地の事例を紹介します。

スターバックスコーヒージャパン（株）（東京都品川区）は今年2月、東京・中目黒に「スターバックスリザーブロースタリー」をオープンしました。これは、スターバックスが2014年から展開を始めた、プレミアムなコーヒーを提供するブランドで、1,000円以上するコーヒーを店員が1杯ずつ目の前で抽出するという特別な体験が楽しめます。

また今まで地域の住民向けの施設であった図書館も、デザイン性が優れていたり、変わったサービスが存在したりすると、世界中から人々を呼び寄せる装置と成り得

ます。武雄市図書館（武雄市）のほか、長野県の小布施町には「まちとしょテラス」という美しい図書館があり、加えて同町では人が家の軒先などに本を展示する「まちじゅう図書館」という面白い取り組みを行っています。新潟・燕三条には、爪切りで有名な（株）諏訪田製作所（新潟県三条市）が、その工房を2011年「SUWADA OPEN FACTORY」にリニューアルしました。綺麗な工房で職人が働いている姿を見学することができ、評判となっています。

観光でも、石垣島のグランピングや「ななつ星」といったクルーズトレイン、また瀬戸内では、常石造船（株）（広島県福山市）という会社がクルーズ客船「ガンツウ」の建造のほか、水陸両用の小型航空機を活用した遊覧飛行「せとうちディスカバリーフライト」など、富裕層をターゲットとした商品を企画しています。

オーナーの個性を全面に打ち出したユニークホテルは近年全国で増えていますが、なかでも霧島市にある山林を10年以上かけて開墾し整備した「天空の森」は、1日3組しか宿泊を受け付けていません。このように、地方の開発のやり方としては、プレミアムな小さいもの、価値のあるものをどう売り出すが鍵となります。

逆に残念な例として、日本では近年サバの輸出が急増していますが、これは日本のサバが諸外国で人気だから、という訳ではなく、逆に小さくて脂身が少なく安いサバが大量に獲れるものの、国内では消費されず、仕方なくアフリカ等へ輸出しているのです。そのため、主要な水揚げ地であった千葉県・銚子は今元気がなく、ノルウェー産のサバを切り身にする加工場だけは賑わっている、という悲しい状況になっています。

福島・飯坂温泉も、泉質は素晴らしいですが、温泉街を流れる小川の両側に、旅館が我先にと高さを競い合い、建物を無秩序に建設した結果、団体旅行文化が廃れた後、温泉街自体が半ば廃墟と化しています。現在は単価の安い中高生・大学生などのスポーツ合宿を多く受け入れています。元々持っていた地域のプレミアムな資源を、シロアリの如く食い尽くしてし

まった結果であると考えています。

景観という観点では、フランスのコルマル、スイスのハルシュタット、モロッコのシャウエンなど、景観に統一感を出し、植物やアート等を施すことにより、美しい街並みを造り上げ、観光客が多く訪れている場所は世界各地にあります。一方で日本の世界遺産、例えば知床をみると、国土交通省の手より海岸線にテトラポットが延々と設置され、また町中には、公共工事で訪れる作業員を相手とする安宿に埋め尽くされています。その逆に、福島の大内宿という場所は、江戸時代に造られた家屋が、明治以降に街道が移ったことにより偶然残っており、当時の宿場町の風情を残す場所として、まさしく一周回って最先端をゆくように、観光により再び賑わい始めています。

### 転換を迫られる日本と沖縄

今日本は難しい状況に置かれています。各種ランキングをみても、1人当たりGDPは30位、ジェンダー・ギャップ指数114位、幸福度54位、熱意ある社員の割合は139カ国中132位となっています。東京大学も世界で42位、日本が上位のランキングを出すと、自殺率の高さだけは世界で6位です。沖縄も、特に女性の自殺率が高いことが知られていますが、高度経済成長を通して皆が豊かな国・地域を目指して頑張ったはずが、なぜこうなってしまったのでしょうか。

ただ、世界が日本を見る目は違います。世界観光競争力ランキングで日本は4位、また最高の国はどこかと世界でアンケートを行った結果、日本はスイスに次いで2位となりました。その調査結果では、日本は最も自国を低く評価している国である、自虐的、ネガティブと指摘されています。ネガティブさは観光や投資に悪影響を与えます。「うちの地域には面白いものは何もない」「目新しいものはない」など自虐的になっていることがマイナスに作用しているのです。世界が日本を評価してく

れるなか、我々はそれぞれの地域の良いところを見つけ、それを伸ばしてゆく必要があります。

日本は今、多くのパラダイム転換に迫られています。人口が増加し住宅の不足へ対処する時代から、人口が減少し、空き家や空き店舗の増加に対処する時代へ、雇用の量が問われる時代から、雇用の質が問われる時代へ、終身雇用の時代から、転職、副業が当たり前の時代へ、そして1人当たり県民所得の格差をなくす時代から、夢、希望、やりがい、楽しさ、自己実現、自己決定の地域間格差をなくす時代へ。元京都大学教授の西村先生らが実施した調査では、個人の幸せを決定する要因として、健康、人間関係の次に、自己決定が挙げられていました。日本はどうしても同調圧力が強く、息苦しい部分もある社会ですが、そろそろ自分のことは自分が決める社会に転換しても良いのでは、と思います。

この反転する世の中で我々が生き残るため、「プレミアム」を考えなければなりません。

### 地方の「プレミアム化」に向けて

「プレミアム」という言葉は、国内外における富裕層の増加やこだわり消費の拡大を背景に、2000年ごろから流行り始めました。サントリーの「ザ・プレミアム・モルツ」など、プレミアムを冠した商品・サービスが多く発売されましたが、これらは既存商品のアップグレード化です。

地方創生におけるプレミアムの本質は、薄利多売、コモディティ化、デジタルデフレからの脱却にあります。例えば、先ほどサバの例を挙げましたが、ブリや桜エビは逆に、数年来続く不漁が問題となっています。テロワール<sup>1)</sup>の価値化や供給制限を行うことで、これらに自然保全や生物多様性というプレミアムが生まれます。また製品、商品、サービスも、皆が同じという時代は終わり、クラフトビールやブティックホテルのように

1) フランス語で、地域をとりまく地勢、気候、土壌、地理などの特徴。ワインの違いを生み出す要素として、テロワールの概念が生まれた

## プレミアム沖縄創生戦略～観光1,000万人時代の先を見据えて～

個性や感性、尖がりの尊重、クリエイティブ、楽しさ、ワクワク感、意外性の追求を通して、熱狂的・絶大なファンを生み出すことが、今の時代には求められています。

プレミアムな価値を発見することも非常に重要です。例えば、バッキンガム宮殿は入場料で3,000円以上も徴収していますが、日本の観光地は、伏見稻荷大社（京都市伏見区）も、京都御所（京都市上京区）も皇居東御苑（東京都千代田区）も、全て入場料は無料です。デービッド・アトキンソン氏が主張するように、日本はあらゆるものが安すぎます。その点で、「無用・無料・不要」の付加価値化はプレミアムに直結し、地域産業の1つ、地域価値の1つに成り得ます。徳島・祖谷の「籠庵」<sup>ちいり</sup>は、当時慶應義塾大学の留学生であったアレックス・カー氏が、空き家となっていた古民家を35万円で買い取り、リノベーションして開業した宿泊施設ですが、今は世界各地から観光客が訪れています。

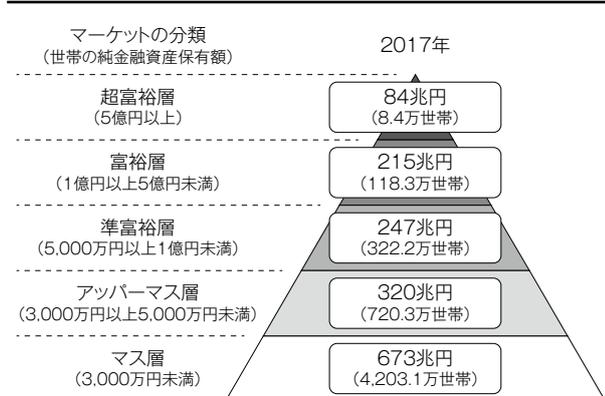
また離島振興法や半島振興法により道路整備が行われた地域では、人口や交通量の少なさ、豊かな自然を価値として多くのサイクリストが訪れ、能登半島や石垣島ではツーリング大会も開催されるようになりました。

富裕層の拡大という世界的潮流も見逃すことはでき

ません。貧富格差の拡大というネガティブな側面もありますが、「2018グローバル・ウェルス・レポート」によると、資産100万ドル以上を保有する富裕層の人口について、実は日本はアメリカ、中国に次いで3位となっております。図1は（株）野村総合研究所（東京都千代田区）が公表した、日本における富裕層の調査ですが、純金融資産を5億円以上保有する超富裕層が8.4万世帯、1億円から5億円の富裕層も118万世帯存在しています。これらの人々は、ウイスキーの山崎50年、ワインのロマネ・コンティなど、数十万から、場合によっては数千万円するお酒を買うこともあります。一方で日本酒は、IWCの「世界最高のSAKE」に選ばれた「出羽桜」が4合瓶1,400円で、それを考えても日本の高質な商品は安すぎます。

プレミアムよりも「ラグジュアリー」という言葉の方が適当かもしれませんが、正当性を有する場所で歴史やテロワールをしっかりと創ってゆき、唯一無二、最上級、プライスレスの価値を売り出すことが求められます。つまりイタリアのアルベルコディフーズ<sup>2)</sup>のように、地域や街というOSの上で、新しい価値を発見し付加価値化することにより、オリジナル、ユニークな商品やサービスを展開する、ということかと思えます。

図1 日本における富裕層



資料) (株)野村総合研究所プレスリリースより九経調作成



▲基調講演の様子

2) 分散型ホテル。空き家などを宿泊施設として整備し、飲食など街全体として観光客を迎え入れる

## 第2部 パネルディスカッション

テーマ「プレミアム沖縄創生戦略～観光1,000万人時代の先を見据えて～」



コーディネーター

鍋山 徹 氏

一般財団法人日本経済研究所 専務理事(代表理事)  
新産業創造業務統括 兼  
地域未来研究センター・  
エグゼクティブフェロー

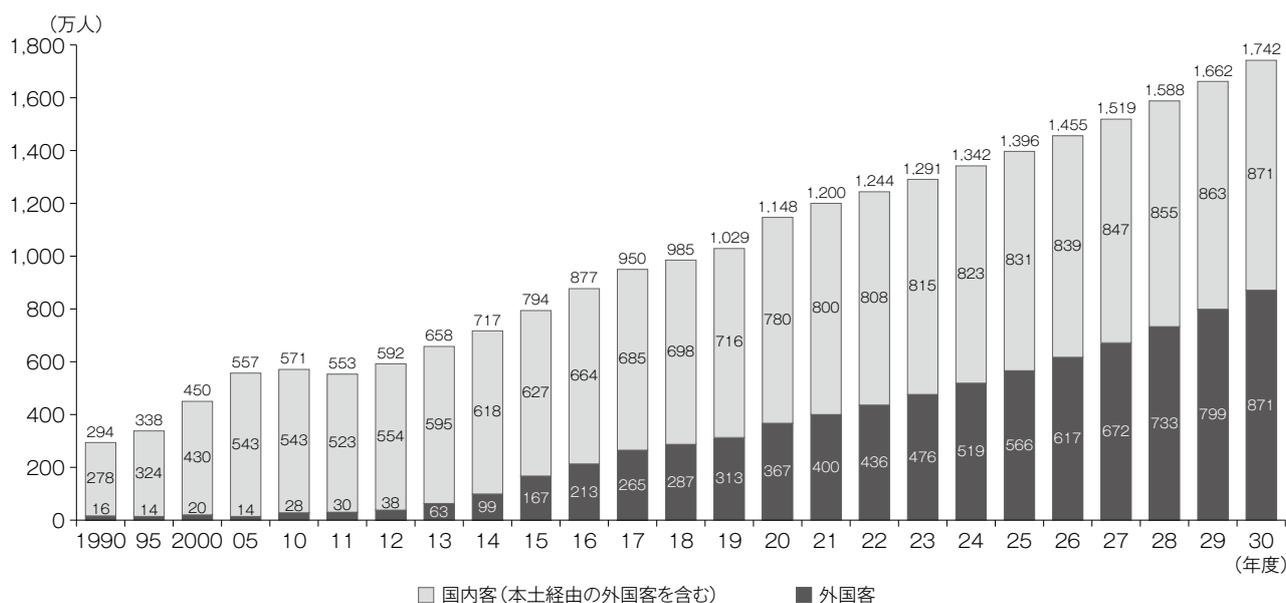
**鍋山:** 沖縄県は石垣島をはじめとして人口が増加傾向にあります。日本のほとんどの地方は人口減少のトレンドに入りました。そのなかで、いかに地域を経済的に存続させていくのか、が問われる時代になりました。

地域で稼ぐ3つの軸の1つ目が「雇用創出」です。通信販売のコールセンターの誘致ができれば、労働集約型であるため多くの雇用を生み出します。その結果、

雇用者が飲食や物販を通じて地域にお金を落とすこととなります。2つ目が地域外にモノを売る、または地域外からヒト(観光客)がやってくる「移出」です。3つ目が「プレミアム」。海外では「ハイエンド(最上級)」とも呼ばれますが、価値を付加して商品やサービスの価格を上げるという意味です。今回はこの「プレミアム」をテーマに沖縄の地方創生の戦略を考えます。

明治・大正時代に活躍した地理学者・三澤勝衛は、著書『風土産業』で「風土を生かせ。自分の地域にある資源に価値を見出して、それに価格をつけていくことは、その地域にしかない独自性である」と述べました。この名言は、今、私たちが取り組んでいる地方創生の方向性を正確に表現しています。具体的には、すでにある地域資源を「発掘」そして「研磨」して、「表現」するスリーステップが地域資源のプレミアム化の王道です。そのためには「プロデュース」することが不可

図2 沖縄県入域観光客数の変遷と予測(1990-2030)



資料) (一財) 沖縄観光コンベンションビューロー資料より九経調作成

## プレミアム沖縄創生戦略～観光1,000万人時代の先を見据えて～

欠で、いくつかの地域資源を組み合わせたり、時には地域を広げたり絞り込んだりすることが有効です。

それでは、パネリストの方々から、ご自身の事業の紹介と沖縄のプレミアム化に向けた提案をお願いします。

### ハワイと肩を並べた沖縄観光とその課題

**照屋：**(株)りゅうぎん総合研究所(那覇市)は、2006年に琉球銀行の経営調査部門が独立した金融機関系のシンクタンクです。主な業務は産業、経済、金融に関する調査研究で、観光についても、例えばプロ野球春季キャンプの経済効果の算出を2003年から毎年実施しており、また最近では県内宿泊施設の需給動向を発表しました。私からは沖縄のプレミアム地方創生戦略の基礎となるような話を中心に行います。

沖縄県は沖縄観光推進ロードマップの中で、2021年までに入域観光客数1,200万人、観光収入1.1兆円を達成することを目標としていますが、この数字は、同じく南国のイメージがあるハワイを意識した数字となっています。ハワイは沖縄と同様に多数の島より構成され、人口規模もほぼ同等でありながら、観光地整備とプロモーションによるイメージ戦略に成功し、今でも世界でも有数のリゾート地となっております。昨年、当社のスタッフが現地視察したので、まずはその報告をいたします。

現在ハワイは6年連続で入域観光客数、観光消費額ともに過去最高を更新し、従業者数の30%が観光に従事するなど、観光がハワイのリーディング産業という位置付けになっていきます。ただ、そのなかでも抱えている課題は幾つかあります。まずは、実質賃金の伸び悩みです。名目賃金は上昇していますが、それを上回るペースで物価が高騰しており、その結果、住民の生活が苦しくなるという弊害が生まれています。また、ハワイ州観光局が地元住民に毎年行うアンケートで、「観光は問題よりも利益をもたらしている」と考える人の



パネリスト

照屋 保 氏

株式会社りゅうぎん総合研究所 代表取締役社長

割合が年々減少している、というのが2つ目の課題です。物価高騰に加え、観光客増加により、道路混雑などから生活環境が悪化している、ということです。これらの対策として、州政府が観光客の分散化に熱心に取り組んでおり、具体的には、現在観光客が集中するオアフ島と他の島を結ぶ航空機の運賃を補助金により値下げしています。

ハワイと沖縄を比較すると、2017年は入域観光客数と観光消費額が過去最高をそれぞれ更新し、また入域観光客数では沖縄がハワイの肩を並べるようになりました。一方で、沖縄の観光消費額はハワイの約4割にとどまっており、これをどう引き上げるかが今後の課題となってきます。要因としては、平均滞在日数がハワイ8.94日に対して沖縄は3.65日、それにより1人当たりの観光消費額がハワイ約19.9万、沖縄は約7.4万となり、その差は2.7倍と大きく開いています。

これを踏まえた沖縄観光の今後ですが、沖縄は、東京・ロサンゼルスそれぞれから飛行機で6時間以上要するハワイと比較して、日本のほか中国、東南アジアなど観光需要地に近いという特徴があります。またこれらの国々は、経済発展により観光出国者数の増加が見込まれる国々でもあります。このように、来訪距離が短く、それにより滞在日数も比較的短くなる観光客が今後も大きなターゲットになると言えます。また、先程観光消費額の差が約2.7倍と言いましたが、これを観光客1人1日当たり消費額に直すと、どちらも2万円強と差はありません。ただ裏を返せば、1日当たりの観光客数

## 九経調創立70周年事業

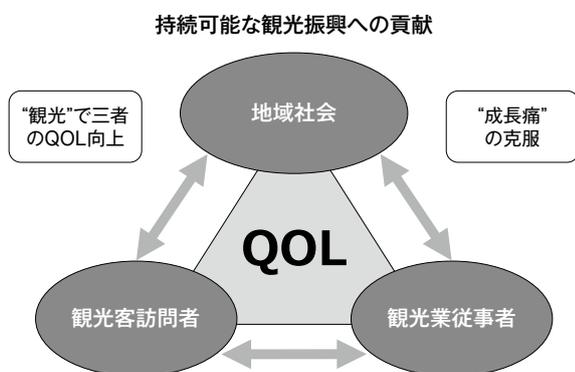
の差が大きく、推計でハワイ23万人、沖縄9.4万人です。つまり、沖縄にはまだ観光客の受け入れの余地がある、と言えるでしょう。

期待することとしては、那覇空港の滑走路が2020年に増設され、年間離着陸回数が現在の16万回から最大24万回までの増加が期待されています。これにより、1日当たりの観光客数を増やすことができますが、今度は那覇空港からの2次交通が問題となり、那覇市内の渋滞悪化が懸念されます。それを含めると、沖縄本島北部にもLCC専用の空港を建設し、観光客の分散化を図る、というのも1つの手であると考えています。ただ当面の間は、那覇空港滑走路増設による1日当たり観光客増加に対する受け入れ余地をどのように整備するかが課題になると思います。

### 「地域主導型の沖縄観光」を目指して

東：沖縄ツーリスト（株）（那覇市）は1958年に創業し、1966年には東京事務所を開設しました。当社は観光産業の移住型産業化を目指しており、今でも独自の流通により毎年40万人以上を本土から沖縄へ誘客しています。またインバウンドに関しても、当社は台北、ソウル、シンガポールに事務所をもち、中国でもWEB

図3 観光産業における旅行会社の役割



資料）東氏報告資料より九経調作成



パネリスト

東 良和 氏

沖縄ツーリスト株式会社  
代表取締役会長

日本旅行業協会 理事

観光庁 Visit Japan 大使

サイトを運営しています。昨年は旅行部・レンタカー部を合わせて48万人の外国人観光客を沖縄へ誘客しました。またこの独自の顧客ネットワークを活用し、北海道やニュージーランドへの送客も手掛けるようになりました。偶々ですが会社紹介のページがotspremium.comということで、詳しくはそちらを見て頂けたらと思います。

先ほど山崎先生から自己決定が重要であるという話がありましたが、我々は言葉を変えて「地域主導型の観光」を目指しています。付加価値、プレミアムというのは、自分たちが下請けに甘んじるのではなく、マーケットを主導するからこそ可能になるという考えのもと、そのためには発地も着地も両方強くないといけない、というのが私達の指針です。また意思決定が沖縄にあることにより、価値観を共有する人だけを受け入れることが可能となり、加えてスピード感が増すことで、競争力強化にも繋がるとも考えています。

そして最近では観光公害という言葉も話題になっていますが、持続可能な観光を推進するためには、観光客の満足度は言うまでもなく、地域社会、観光業従事者も加えた三者のQOL（Quality of Life）向上が重要で、これをプレミアム感と読み替えても良いと思っています（図3）。このような“成長痛”のようなものを克服することが大事であると思います。

また私は、文化やアートがある地域には絶対プレミアムな商品が作れると思っています。文化や自然を損なうと、どんなに綺麗なホテルがあっても、世界中の教

## プレミアム沖縄創生戦略～観光1,000万人時代の先を見据えて～

養のある人々は来ないと考えています。当社では、後継者不足により2年に1回しか催されなくなった沖縄本島北部の伝統芸能「操り獅子」のツアーを企画することにより、地域の若者がやる気になり、毎年行われるようになりました。

話は変わりますが、近年、特に若者に関しては旅行代理店の実店舗ではなく、OTA（Online Travel Agent）で購入する割合がかなり増えていますが、そこでも当社が下請けにならないよう取り組みを進めています。具体的には、ローカルだから強い「ローカルOTA」として、地元ならではのアクティビティを提供するほか、地元での色々なイレギュラーへの対応を可能にし、安心安全を具現化できることをプレミアムとしています。特にレンタカーでは、当社が1970年に沖縄で初めて、また個人向け観光レンタカーとしてはおそらく日本でも初めて事業化したという自負もあり、他社に先駆けた取り組みを数多く行ってきました。例えば、2007年には右ハンドル用の安全運転シミュレーターを営業所に設置したほか、2009年には4カ国語のカーナビを設置したり、最近では大同火災海上保険（株）（那覇市）と共同で、事故補償と医療保障を備えたインバウンド向けレンタカー保険「VIP プレミアム安心パック」の販売を開始しました。これらの取り組みは全て日本初の取り組みです。

それ以外にも、e-sports、SDGs、レストランでのム

スリムやアレルギーへの対応などに力を入れています。域外では、ニュージーランドで現在のレンタカーに加え、ブティックホテルを年内に開業する予定です。同様に富山県でも、彫刻で有名な南砺市の井波という町で、120坪の元料亭を500万円で買い取り、リノベーションしたゲストハウスを今年7月に開業する予定となっています。

最後に、図4は、日本と世界における観光市場を4象限で整理したものです（図4）。ここで注目すべきは、日本のインバウンド市場規模よりも、日本人国内観光の市場規模の方がまだまだ大きいということです。つまり沖縄観光にとっては、日本人の観光客も大切にして現状維持、または微増に導きつつ、その上で外国人を取り込む必要があるということです。加えて、日本だけではなく、164兆円もの市場規模がある世界の越境観光をターゲットとしたビジネスに大きな可能性があることも指摘できると思います。

### 本島北部の「プレミアム化」に向けた取り組みと提案

前田：（株）前田産業（名護市）は、沖縄本島北部の名護市と本部町で特色が異なる3ホテルを運営しています。私からは、付加価値向上に向けた当社の取り組みの紹介、沖縄本島北部のプレミアム化に向けた方向性と具体策をお話したいと思います。

私たちは地域の特性を活かし、「そこにしか無い価値」にフォーカスしサービス提供を行うことを目標に、幾つかの取り組みを行っています。まずは「さくらピクニック」です。これはホテルマハイナで実施しているもので、冬季の長期滞在者向けに、本部町の特性を活かし、通常の旅行では体験しないようなコンテンツを盛り込んでおります。八重岳桜の見物も兼ねたピクニックがメインですが、そのほか、沖縄で唯一の鰹節工場、泡盛の醸造所、山の中にある130年前の藍染め場の

図4 日本・世界の観光市場4象限

2020年 観光の概観	日本国内へ 上：国内旅行 下：訪日旅行	世界各地へ 上：海外旅行 下：第三国旅行
<b>国内市場 日本人客</b> ※印は独自推計	約 <b>6億6千万人</b> 2016年：6.41億人 2017年：6.48億人 <b>21兆円</b> 2016年：21.0兆円 2017年：21.1兆円 2013年～2017年 平均値の5%増	目標 <b>2,000万人</b> 2017年：1,789万人 <b>2兆2931億円</b> ※ 2017年：2兆511億円 財務省旅行収支の消費額 17年の一人単価で計算※
<b>海外市場 外国人客</b> IVはUNWTOの 成長率で計算	目標 <b>4,000万人</b> 2017年：2,869万人 <b>目標 8兆円</b> 2017年：4兆4,162億円 2030年目標 6,000万人・15兆円	<b>III IV 14億79百万人</b> 2017年：13億22百万人 <b>164兆円</b> 2017年：147兆円 1米ドル=110円・I & III 含む UNWTO平均成長率3.8%

資料）（株）OTSサービス経営研究所資料より九経調作成



### パネリスト

前田 裕子 氏

株式会社前田産業 代表取締役社長

公益財団法人名護市観光協会 理事長

跡地、クロマグロの養殖所の見学、無添加小麦の胚芽パンの手作り体験などを組み込みました。参加費は弁当代と若干の手間賃を含めて3,500円としましたが、参加者からは、何度も沖縄には来ているけれどこれは初めての体験だった、など好意的な感想を頂きました。この企画は、ホテルがお客様と地域をつなげ、その店舗や企業がものづくりを紹介し物販にも繋がったという、双方に満足度の高い企画となりました。

このほか、海洋博公園で行うノルディックウォーキングは、沖縄美ら海財団・琉球大学との産官学連携で商品開発を行い、そのコースが昨年日本ノルディックウォーキング協会の公認コースとして認定を受けました。また星空観察ツアーは、本部町の夜の魅力発見をテーマに、ホテルの周辺集落を散策しながら星空を見物するというツアーになっています。ただ、さくらピクニック含めこれらの体験企画は、参加者の満足度は高いものの、ヒット商品と呼べるほどには至らず、単価アップに結びついていないという点が大きな課題となっています。北部には素晴らしい素材が色々あるなかで、プレミアムな価値・価格にしていくにはどうしたらいいのか、今日も勉強したいと思います。

その北部地域のプレミアム化に向けて、2つ提案したいと思います。まずは「ワーケーション」です。ワーケーションとはワークとバケーションを組み合わせた造語で、リゾート地や中山間地域など普段の職場とは違ったところで働きながら休暇取得を行うものです。働き側としては生産性向上や新しいアイデアの発見、受け入れ

側にも交流人口の増加というメリットがあります。また沖縄総合事務局が実施したテレワーク実証実験の結果によると、滞在期間が長い分、観光目的の訪問よりも現地での消費額が多くなりました。私は常日頃、名護や本部は、スーパーや郊外型店舗などで生活に必要な買物が十分に可能で、海や山にも近い、便利で程良い田舎であると考えています。働き方改革が叫ばれる昨今、例えば、仕事を終えてビーチでビールを飲むという過ごし方をしたり、また花粉症対策として、毎年春は花粉の少ない沖縄で働く、ということも考えられます。コワーキングスペースの設置やサテライトオフィスへの支援など働く環境を整えることで、この地域に都会からワーケーションで訪れる方々が増えるのではないかと期待しています。

そしてもう1つの提案が「やんばるコアエリアへの立ち入り規制」です。現在世界遺産登録を目指しているやんばる地域ですが、そのなかでも特に自然を保護すべき場所をコアエリアとして設定します。高額なツアーの参加者のみ通過できる関所を設けるプレミアム化と、バッファゾーンとして低価格の商品など多数の方が入れるエリアを設けるゾーニングを進めたらどうかと考えています。

亜熱帯ならではの照葉樹林に広がる特有な生態系、また貴重な動植物も多く生息することから「奇跡の森」とも呼ばれるやんばるですが、その希少さを壊してしまうと元も子もありません。無断の立ち入りや動植物の持ち出しに罰則を設け、レンジャーやガイドを配置するなどして、その希少さを大事に守り育てることが大切です。グランドキャニオンやエアーズロックのような、目で見て分かりやすく万人受けするような場所ではありませんが、それを逆手にとり、例えば山崎先生の話にあった「天空の森」のように、地域をプレミアム化することが良いと思います。

管理の方法としては、例えばグランドキャニオンはアメリカ合衆国の国立公園局という機関が管理していますが、国立公園の入口にゲートを設け、そこで車1台あ

## プレミアム沖縄創生戦略～観光1,000万人時代の先を見据えて～

たり30ドルを徴収しています。実は同じような取り組みを、先日本部町でも実施していました。本部町では毎年、八重岳の麓で「日本一早い」と言われる桜祭りを開催していますが、その桜の維持費が自治体を悩ませていました。そこで今年は、「もとぶ八重岳桜の保全育成協力金」を集める取り組みを行いました。具体的には、会場に通じる道路を通る車に、協力金のお願いに関するチラシを配りました。そして協力金を受け付けるボックスを会場内に設置し、町職員が対応したそうです。普通車は1台500円、マイクロバスは1台3,000円に設定しましたが、会場を訪れた皆さんが快く協力くださり、1月19日から2月3日までの桜祭り期間で、なんと450万円もの協力金が集まったそうです。協力金を主導した本部町長も、「未来にこの桜を残すために今やるべきことがあるという思いに、これだけの方々が賛同してくれた。思いを共有し、みんなの力で守り育て行動するという考え方こそ、自然や環境の保護には必要である。」とコメントしていましたが、この八重岳の桜のような「地方の価値」にお金を出すことを、今の時代の人々はしっかり理解していると思います。またそれが愛着へと繋がり、リピートする動機にもなるかもしれません。

まとめると、本島北部をプレミアム化するには、希少性のある部分には供給制限も含めて特別感をもたせ、また来訪客に、自分も地域に関わっているという感覚を持たせることで価格を上げていくこと、またこの地域以外でもみられるものは、やんばるブランドを活かして価値を最大化することが求められると私は考えています。

**鍋山:** 本部町の事例では、桜祭りを実際に訪問した方から協力金を集めていますが、ネット上でお金を集めるのも有効な手立てです。例えば、函館市はふるさと納税で赤字となっていた自治体ですが、新たな手立てとして、函館市の安心安全に関する施策（大間原子力発電所の建設凍結のための訴訟費用など）に活用するというプランを取り入れた結果、納税が増えました。自然

保護や環境保全に本気で取り組む地域や団体にお金が集まる時代です。クラウドファンディング（ネットを通じた不特定多数の人達からの小口資金調達）など、ITを駆使した金融ツールの活用は地域外とのつながりを促進します。

### 沖縄の将来像としての 世界的保養地・プーケット

**鍋山:** 2巡目です。まずは照屋さんから。先程の話からさらに付け加えたい点はありますか。

**照屋:** 沖縄県は観光客の平均滞在日数を3.6日から4.5日に延ばすことを目標としていますが、今沖縄に来ている観光客にとって、観光にかけられる予算には限度があり、1日当たりの消費金額を維持しながら滞在期間を延ばすことはあまり見込めません。目標達成のためには富裕層をターゲットとした新しい観光施策が不可欠ですが、アジアで富裕層の取り込みに成功した観光地として、タイのプーケットが挙げられます。タイは世界の国別観光収入額で第4位を誇る観光立国です。特にプーケットは欧米豪やロシアなど世界中から富裕層が訪れ、その平均滞在日数も9.6日とかなり長いです。当社もハワイに続きプーケットに調査に行きました。

タイと沖縄の観光消費を比較すると、宿泊費は沖縄よりも安く、一方で娯楽・入場費が高いという特徴があります。プーケットでは特にナイトコンテンツが充実しています。例えば、プーケット・ファンタジーというテーマパークでは、3,000席を収容する劇場で夜9時から絢爛豪華なショーを楽しむことができます。またムエタイの試合やニューハーフショーも夜の時間に開催しており、こちらも連日満員です。このほか、メインストリートでは深夜までお店が営業しており、また深夜に女性が1人歩きしても大丈夫なように治安を保っています。

沖縄をプーケットに近づけるためには、直行便の誘

致やホテルのロケーションもありますが、飲食店の多様性も重要です。外国へ長期間旅行に行くと、現地の料理だけではなく、たまには慣れ親しんだ故郷の料理を食べたいと感じますが、プーケットでは、タイ料理だけでなく、世界各国の料理を提供するレストランが充実しています。

**鍋山:** プーケットは、沖縄にとって参考になる事例です。エリア毎にターゲットの国や地域を定めたゾーニング戦略は有名ですね。

**照屋:** そうですね。プーケットでは、ロシアの方が多く泊まるホテルが集まる地域、その他オーストラリア、アメリカ、ヨーロッパ…といった形に、それぞれの国の人々が安心して泊まれるエリアを設定し、また料理も、タイ料理とそれぞれの国の料理の両方が味わえます。富裕層の方は、パッケージツアーではなく、その時々で楽しむものを選ぶ旅行をするので、それに合うコンテンツを充実させる必要があると思います。

### 那覇空港の滑走路増設への備え

**鍋山:** 続いて、東さん、何か付け加えたい点はありませんか。

**東:** 先ほどの話ではあまり触れませんでした。来年の春に那覇空港の第二滑走路が供用開始予定です。それにより離着陸が1.4倍に増えると言われていますが、何よりも時間帯の問題が解決するというのが大きいです。現在、午後11時から午前1時までの間は、滑走路点検のために航空機の離着陸ができません。そのため、例えば東京や香港からは、遅くとも午後8時には出発し、午後11時までに確実に着陸しなければなりません。その時間に遅れ、嘉手納空港に一時着陸させられたことがニュースになったこともあります。第二滑走

路が完成すると、1本ずつ点検することになり、文字どおり24時間空港になります。そうすると、羽田発午後10時といった運用も可能になると思われませんが、沖縄県でその時の準備ができていないかという点、課題も多いです。LCCなど航空会社にとっては、昼間は飛行機をビジネス路線に投入して収益を稼ぎ、夜中は、言わば「飛ばせば需要がついてくる」リゾート路線に注力し効率を上げています。そうすると那覇空港には、来年すぐそのようになるかは分かりませんが、夜中の1時ぐらいに大量に人が着くことも考えられます。このお客様をプレミアムに変えるのか、または今のように、飲食店やレンタカー屋は開いていない、ホテルにも人がいないと評判を下げ、また対応する側も面倒くさいと煙に巻き、観光公害に変えるかは、我々の準備次第だと思います。やり方によっては、沖縄に前泊してくれますから、3.6日という沖縄の平均滞在日数が4日を超えるチャンスになるかもしれません。モノレールも現在は午後11時半で終わりますが、それをどうするのか、ホテルのチェックインもどうなるのか、ということをお客様一人ひとりが考えないといけないと思います。

**鍋山:** 規制緩和と同時に、その準備を地域が一体としてどこまでやるか、という大事な話だったと思います。その点、インフラはこれからも重要です。ハード面のインフラがあって、その上にソフトが形成される、ということでしょう。

### 「プレミアム化」に向けたアプローチ

**鍋山:** 続いて前田さん、コメントがあればお願いします。

**前田:** 「今ある価値を磨く」ことが、作っている側の自己満足になってはいけないと思います。例えば、私たちの「さくらピクニック」の事例では、現在でもお客様の満足は高いですが、それを1人3,500円から5,000

## プレミアム沖縄創生戦略～観光1,000万人時代の先を見据えて～



アドバイザー

山崎 朗 氏

中央大学 経済学部 教授

円、8,000円とはならないのか、またそのためにはどう磨き上げれば良いのかなど、考えることが重要であると思います。地域として、高単価に耐え得る商品を開発し、そしてラグジュアリーな人を呼び込む施策を私自身も検討しなければならないと思いました。

**鍋山:** 域外や異業種など、いろいろな方との情報交換や人的交流は、新しいアイデアが生まれる大事な基盤です。

一つ気になったのですが、「プレミアム化」を検討する時、「富裕層」を呼び込むことをまず考えますが、ごく一部の人間にターゲットを絞って果たして良いのか、という点です。もう少し範囲を広げ、皆がプレミアムなサービスを受けられた方が良いのではと思いますが、いかがでしょうか。

**山崎:** シャワー効果という用語が適切かどうかは分かりませんが、例えば由布院には「無量塔」「亀の井」「玉の湯」といった由緒ある高級旅館がいくつもあります。私はそれらには泊まったことはなく、湯布院の国民宿舎にはよくゼミ合宿で泊まりましたが、その際にも高級旅館を訪問して、美味しいコーヒーやあんパンをいただきました。上層が小さくなるのは当然ですが、それが無くても良いという訳ではなく、その存在により地域全体が多様化し、そして全体を底上げすることにつながります。

**鍋山:** まさしくその通りで、例えば先ほどの由布院の高級旅館は1泊4万円以上もしますが、これらがピラミッド構造の山頂となり、その下に3、2、1万円台の旅館があって、すそ野が広がっていくというイメージです。その第一歩として、頂上に最先端のプレミアムのものをつくるのが非常に大事です。

今日、私はキーワードとして「発掘-研磨-表現」の三ステップ、それらをまとめる「プロデュース」を挙げましたが、創意工夫を通して点と点を面へと変えていくためには、自己決定力をもつことが不可欠であるように感じました。21世紀はスピードが重要で、これまでのキーワードとともに、世界と競い合わなければなりません。また東さんが語られた「QOL」や、山崎先生が指摘された自殺率の話に関連して、皆が幸せに生き、人生を楽しむようになってこそ、国内外から沖縄を訪れる観光客がリピート化するのではないのでしょうか。「目に見えないもの」をどのように高めるのか、これからのテーマです。

### 観光1,000万人時代の先を見据えた 沖縄の「プレミアム化」

**鍋山:** 最後に、皆様から一言ずつお願いします。

**照屋:** 現在、奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島の世界自然遺産登録に向けた取り組みが進んでいますが、登録が認められた後のことを考え、プレミアム感を出しながら自然景観を維持する施策を検討することが必要ではないかと思います。

**東:** 沖縄の良さを分かりやすく外の人に伝えることをもっと意識するべきであると思います。いくらプレミアムな商品があっても、マーケットにその良さが伝わらないと何も意味がありません。当社でも、自社の流通から、また域外・海外の事務所から顧客に直接それらを伝え

## 九経調創立70周年事業

ることに取り組んでいますが、良さが伝われば必ずそれが付加価値になってくると思います。

**山崎:**先日、堺屋太一氏がお亡くなりになりましたが、その最期に、3度目の日本、今の安全であるが面白くない監獄国家から、豊かな幸福を追求できる選択国家を創れるか、という言葉を残しました。パラダイムが変わりつつある現在、楽しい日本、楽しい地域を創り出す一つの切り口が、プレミアムではないかと考えています。

**鍋山:**ありがとうございました。皆様には、本日山崎先生はじめ各パネリストが挙げたキーワードや国内・海外の事例のうち、記憶に残ったものを持ち帰って、未来の沖縄への糧にいただければと思います。

編集・構成

渡辺 隼矢（事業開発部 研究員）



▲パネルディスカッションの様子

# TAIWAN

## アジア便り 台湾 vol.131



レポーター  
崎山 寛弥  
(琉球銀行法人事業部)  
則和企業管理顧問有限公司  
(※弊行業務提携先 / 台湾現地  
コンサルタント会社)へ赴任中

## 台湾人観光客について

### はじめに

皆様こんにちは。琉球銀行法人事業部より台湾の則和企業管理顧問有限公司へ赴任しております崎山寛弥です。5月に入り、台湾もいよいよ梅雨の時期に差し掛かるタイミングにあたり、蒸し暑い日が続いています。台湾の梅雨は、スコールのような大雨が短時間集中で降るなど沖縄と似ている一方、気温が下がって冷え込むといった特徴もあります。これから台湾旅行を検討されている方々は、沖縄とはひと味違った特徴のある台湾の梅雨情報もご参考になさってください。ちなみに、6月中旬ごろの梅雨明け以降は本格的な夏の訪れとなり、最高気温が35度以上となる日もあります。台湾の暑さは沖縄以上ですので、くれぐれもお気をつけください。

### 1. 沖縄の観光業界における台湾人観光客

皆様ご存じのとおり、現在沖縄は国内外より数多くの観光客が訪れており、世界でも有数の観光地として認知度および魅力が高まっております。国際通りや美ら海水族館、首里城といった主要観光地を中心に観光客で溢れかえる光景は、もはや日常の一部となりました。昨年(2018年)の沖縄県内への(暦年)入域観光客数は984万2,400人で、前年(2017年)比+44万6,200人(+4.7%)と6年連続で過去最高を更新しました。

度重なる台風や麻しん発生といったマイナス要因はあったものの、前年に引き続き900万人台を記録し、同じく観光地として根強い人気を誇るハワイの入域観光客数とほぼ同水準の位置まで来ました。そしていよいよ今年度には1,000万人の大台到達も見込まれています。

絶好調ともいえる沖縄の観光業界に大きな影響を与えているのが、年々増加の一途をたどる外国人観光客です。昨年の(暦年)入域外国人観光客数は、上記同様過去最高の290万3,800人(※同じく6年連続過去最高)に達し、前年比+36万1,600人(+14.2%)と伸び率は日本人の入域観光客数を大きく上回る形となりました。

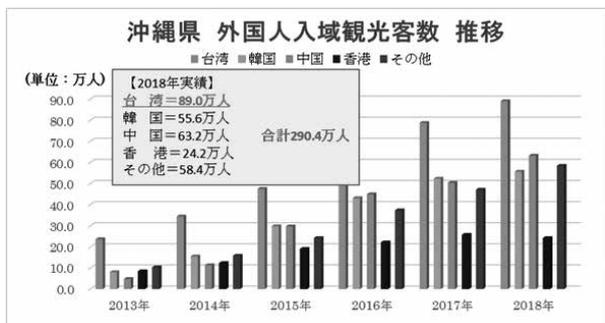
国内の景気拡大に伴う旺盛なリゾート観光需要の高まりを背景に、県外からの観光客は安定して増加してまいりましたが、近年は外国人観光客の伸びが顕著となっております。2013年の入域観光客数55.1万人と比べると、昨年の実績値は約5.3倍であり、同期間の日本人観光客数の伸び(2013年586.3万人⇒2018年693.9万人/約1.2倍)を大きく上回るものとなっております。

### 沖縄県における入域観光客数の推移 ※出典：沖縄県資料より崎山作成



その中でも、入域外国人観光客の最も多くを占めているのが台湾人です。LCC 路線拡充により以前にも増してより割安かつ気軽に往来できる機会が増えたことや、クルーズ船の寄港回数も年々増加していることもあり、空路・海路ともに過去最高であった前年を上回る年間 88.9 万人に達しました。この勢いが続くと、今年度および那覇空港第二滑走路が竣工する 2020 年度以降は、90 万人超（もしくは 100 万人台）に到達することが期待できます。ちなみに、2013 年の台湾人入域観光客数は 23.5 万人であり、昨年実績値（88.9 万人）は同年対比約 3.8 倍の高水準です。

沖縄県における外国人入域観光客数の推移  
※出典：沖縄県資料より崎山作成



上述した環境にある今日では、「台湾人は旅行好き」というイメージを感じる機会も多いかと思えます。台湾は日本と比べて年間合計の祝祭日が少ないものの、土日や短期休暇（3～4 連休）を利用した海外旅行がごく一般的な慣習として日本以上に幅広く認知されています。中でも沖縄は「最も近い日本」として認識され、歴史的背景や文化も似通った地として大変人気があります。チャイナエアラインとエバー航空の大手キャリア航空会社の他、ピーチアビエーションやタイガーエアといった LCC も含めて毎日 8 便が就航しており、「片道 1 時間程度で行ける気軽な海外旅行先」としてリピーターが多いことも特徴に挙げられます。

※台湾の桃園国際空港の電光掲示板には、未だに「沖縄」ではなく「琉球」として表記されていることも興味深い一例です。余談ですが、台湾南部には通称：小琉球と呼ばれる一周 13 キ

ロ程度の小さい島があり、シュノーケリングやカヤック遊びを楽しめる他、島周辺に数多く生息しているウミガメを見ることができると、人気観光地の 1 つとして年中賑わっています。



桃園国際空港発沖縄行き チャイナエアラインの電光掲示板

クルーズ船の寄港回数についても、2018 年の沖縄県内への（暦年）寄港回数は 528 回にのぼり、2012 年の 125 回から約 4.2 倍の大幅増となりました。中でも那覇港は 243 回（※全体の約 46%）を占め、中国・台湾を中心とした訪日観光客の増加に大きく寄与しております。

2. 世界各国の出国率からみた台湾人観光客

また、日本を含め世界各国と比べても、旅行好きな台湾人の一面を垣間見ることができます。下記の表は、世界の主要各国の出国者数および出国率を比較したものになります（※「出国率」＝総人口に対する海外旅行者数の割合。1 人で年間複数回海外旅行をするケースもあるため、統計上は出国率が 100% を超えることもあります）。

世界各国の出国者数・出国率  
出典：一般社団法人日本旅行業協会より崎山作成

国・地域	出国者数	人口(千人)	伸び率(%)	出国率(%)
日本	16,214	126,926	-4.1%	12.8%
台湾	13,183	23,492	11.3%	56.1%
中国	117,000	1,374,620	9.1%	8.5%
韓国	19,310	50,629	20.1%	38.1%
香港	10,443	7,311	13.2%	142.8%
シンガポール	9,125	5,535	2.5%	164.9%
オーストラリア	9,459	24,016	3.8%	39.4%
アメリカ	32,789	321,601	6.5%	10.2%
カナダ	10,512	35,497	9.6%	29.6%
イギリス	65,720	65,097	9.4%	101.0%
オランダ	17,928	16,864	-0.9%	106.3%
イタリア	28,460	60,783	2.4%	46.8%

日本の場合、沖縄も含め四季折々の季節感を満喫できるコンテンツや観光名所が北から南まで豊富にそろっていることもあり、国内旅行でも十二分に余暇を楽しめる環境が整っています。また、治安の良さや日本人全体的な「国内志向」も影響しているのか、出国率は世界各国の中でも低水準にとどまっております。日本のパスポートは世界199カ国・地域のうち、190カ国においてビザなし渡航が可能であり、その数は世界最多で「世界最強のパスポート」と言われているものの、日本人のパスポート保有率自体が25%前後と低い点も含めて少し残念な気がします。

台湾の話に戻ります。日本人の出国率の約4.4倍を誇る台湾人の出国率ですが、台湾人と接したうえで感じた特性として、日常生活ではあまり贅沢をせず、節約して貯めたお金で最低年1回以上の海外旅行を楽しむ傾向があるように思います。地下鉄(MRT)やバスが発達し、おおよそ低額料金で利用できることや、核家族化による持ち家文化が少ないと推測されることも踏まえ、自家用車やマンションにお金をかけるよりも、年に数回の「贅沢」として海外旅行を位置付けているように感じます。また、台湾は若年層を中心に中国語(北京語)の他に英語や日本語を話せる人々が多いことから、海外旅行の際に最初のハードルとなる「言語」の問題があまり生じないという点も出国率の高さにつながっているのではないのでしょうか。

## 最後に

台湾人の沖縄への観光需要は勢いを増す一方です。今後は観光派生型も含めたビジネス連携も促進させていきたいと思っておりますので、台湾展開または台湾企業との連携ニーズなどがございましたら、ぜひご相談ください！お待ちしております。

また、早速ですが来月沖縄にて「台湾マーケットセミナー」開催いたします！私の赴任している台湾現地のコンサルタント会社：則和企業管理顧問有限公司の畠中董事長を招いて、台湾マーケットの現状から、販路拡大先または商材調達先としての台湾企業との連携可能性まで幅広く講演していただきます。さらに、最近台湾展開を開始された県内企業様にもご登壇いただき、台湾を志向した経緯や狙い、苦勞した点なども語っていただく予定です！詳しくは次頁をご覧ください、ぜひ多くの方々がご参加いただけますことをお待ちしております。

則和企業管理顧問有限公司

Tel: 098-895-8295(※崎山 / 台湾携帯)

080-6487-0457(※崎山 / 日本携帯)

E-Mail: fs28@ryugin.co.jp

講演会のご案内

りゅうぎんビジネスクラブ主催

# 台湾マーケットセミナー

～台湾企業と連携したビジネス展開のポイント～

アジアの中でも親日度が高く地理的にも非常に近い点からも、商品の輸出先としてだけでなく、商材の調達先・生産委託先としても台湾企業との協業には大きな可能性が秘められています。

本セミナーでは、販路拡大または商材調達の足掛かりとして台湾企業と協業することのメリットや具体的な手法だけでなく、実際に台湾ビジネスに取り組んでいる県内企業2社から、台湾展開に至った経緯から今後の展望まで、生の声をお届けします。

<p>第1部</p>	<p><b>台湾マーケットセミナー</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>台湾市場概説</li> <li>台湾事業展開(販路拡大・商材調達等)の可能性</li> </ul> <p>則和企業管理顧問有限公司(琉球銀行業務提携先)                  董事長 畠中 則和 氏</p>	<p>日時</p> <p>2019年 <b>7月9日(火)14:00～17:00</b></p> <p>セミナー終了後、名刺交換・個別相談が可能です！                  (17:00～18:00)</p>
<p>第2部</p>	<p><b>台湾展開企業による事例紹介</b></p> <p>企業① オキコ株式会社                  企業② 株式会社日進商会</p> <p>海外展開を決めた経緯から今後の展望まで、各社より実体験をお話しいたします。</p>	<p>場所</p> <p><b>沖縄産業支援センター1階 大ホール</b>                  (那覇市字小祿1831番地1)</p>
<p>第3部</p>	<p><b>トークセッション 「台湾展開の可能性」</b></p> <p>パネリスト                  畠中氏×オキコ(株)×(株)日進商会</p>	<p>参加料</p> <p><b>無料(ビジネスクラブ会員企業の方限定)                  非会員企業の方:2,000円</b></p>

※海外展開(販路拡大・商材調達先開拓等)はハードルが高いとお考えの方にこそ知っていただきたい内容となっております。また、ご興味のある方であればどなたでも参加が可能です。ぜひこの機会にお申込みください！

下記申込欄をご記入の上、メールまたはFAXにてお申込みください

企業名	TEL	個別相談(どちらかに○を記入) 希望する ・ 希望しない
ご職位	お名前	E-Mail

お申込み お問合せ りゅうぎんビジネスクラブ事務局(琉球銀行 法人事業部内 担当 崎山・真栄城)  
 FAX:098-862-0704 E-MAIL:fs4@ryugin.co.jp TEL:098-860-3817

## 入会のご案内

琉球銀行の経営理念である「地域から親しまれ、信頼され、地域社会の発展に寄与する銀行」を实践するべく、お取引先企業への情報支援サービスの提供を目的に会員制組織「りゅうぎんビジネスクラブ」を設立し、各種セミナーの開催や情報のご提供、県外での商談会など様々なサービスを実施しております。

### サービスのご案内

■各種セミナーの開催による情報等の提供  
ビジネスクラブ会員企業トップと弊社役員との親睦の場を兼ねたトップセミナーや実務セミナーに無料で参加いただけます。

#### 【最近の実績】

- H29.2.22 トップセミナー「経営戦略としてのワークライフバランス」  
H29.6.20 「業績向上！営業リーダーの条件と役割」  
H29.8.17 「インバウンドビジネス成功戦略」  
H29.11.13 女性限定セミナー(講演&ヨガ)

#### ■「経営参考小冊子」の定期配送

企業運営に有益な情報が盛り込まれた「経営参考小冊子」をお届けいたします。

#### 【内容例】

- ・「仕事が速い人」の時間の使い方
- ・実践「営業トーク」集
- ・好かれる人の「気づかい」
- ・ビジネスモデルをつくった人々

#### ■専門家派遣サービス

公認会計士・税理士・司法書士・中小企業診断士・社会保険労務士・行政書士・弁理士・通訳などの各種専門家を無料で派遣し、会員企業様の「経営課題」に対し、会員企業様・専門家・琉球銀行が一体となって取り組むサービスです。

※1社につき年2回ご利用になれます(予算の都合により1回に制限する場合もございます)。

#### ■「りゅうぎんマネジメントスクール」の開講

企業経営者や経営幹部を対象にした、ビジネススクールの運営を実施しております。  
※別途受講料が必要になります。

#### 【著名な講師例】

- ・第1期 酒巻 久 キヤノン電子株社長
- ・第2期 鈴木 喬 エステー株会長
- ・第3期 出口 治明 ライフネット生命保険株会長兼CEO
- ・第4期 宗次 徳二 株式会社 創業者特別顧問
- ・第5期 高田 明 株A and Live 代表取締役
- ・第6期 橋本 真由美 フックオフコーポレーション株取締役相談役
- ・第7期 小島 英揮 Still Day One(同)代表社員パレレル  
マーケター・イベントエグゼクティブ/CMC Meetup発起人  
株国際後継者フォーラム 代表取締役

#### ■「経営関連情報」の定期配信

経営のお役に立つ情報をコンパクトにまとめた「りゅうぎんビジネスフラッシュ」を毎週配信いたします。

#### 【内容例】

- ・「論理的思考」が身に付く鉄則5選
- ・管理職の労務管理に関するQ&A

### その他のサービス

#### ■融資利率の優遇

りゅうぎんビジネスクラブ会員企業の皆様に一部融資商品(ベストサポーター、順風満帆)について、融資金利の優遇を実施しております<sup>1</sup>。詳細は取引店担当者にお問い合わせ下さい。

りゅうぎんビジネスクラブ  
入会申込方法  
年会費 20,000円

- 1 「りゅうぎんビジネスクラブ入会申込書」に必要事項を記入の上、取引店担当者に提出下さい。
- 2 入会金は不要です。
- 3 年会費は20,000円です。 ※お申込月の翌々月4日ご指定口座より引落となります。

お問い合わせ

「りゅうぎんビジネスクラブ事務局」(琉球銀行法人事業部内)

**TEL:098-860-3817** (担当:照屋、真栄城)までお願いいたします。

<sup>1</sup> 審査の結果、ご希望に添えない場合もございますので、あらかじめご了承下さい。

沖縄総合事務局経済産業部の最近の取組について

## 働き方改革・生産性向上推進運動 ～おきなわワークイノベーション～ 応援します！中小企業の働き方 改革と生産性向上

沖縄働き方改革・生産性向上推進協議会では、沖縄県内事業所の働き方改革や生産性向上の取組を支援するため、「働き方改革・生産性向上推進運動」を実施しています。沖縄県内5万社の中小・小規模事業者に対し、県内支援人材2千人が、働き方改革・生産性向上の取組を支援しています。

### 働き方改革・生産性向上推進運動とは

我が国では、労働力の主力となる生産年齢人口(15～64歳)が総人口の減少数を上回るペースで減少しています。沖縄県においても、生産年齢人口は約90.4万人(2010年)から約89.3万人(2015年)と約1万人減少しており(2015年国勢調査)、生産年齢人口の減少は、将来的には就業者数の減少に繋がる可能性があります。少子高齢化が進んでも労働力を確保するためには、働き方改革を通じた人材の確保・維持と、生産性向上を通じた企業の収益力向上が必要です。そのため、平成29年11月に「働き方改革・生産性向上推進運動」を発足し、国や県、経済団体、支援機関、労使団体、士業団体等22機関が一丸となり、働き方改革・生産性向上に取り組んでいます。沖縄県内の約5万社の中小企業・小規模事業者へ、働き方改革・生産性向上の取組の重要性や、支援策や相談窓口といった取り組む上で必要となる情報の普及活動を行っています。



沖縄働き方改革・生産性向上推進協議会

### 目指そう！働き方改革・生産性向上

働き方改革・生産性向上推進運動を通じて、様々な活動を行っています。

#### 1 説明会・セミナーの開催

各機関による説明会・セミナーのほか、合同での個別相談会の開催を県内各地にて行っています。

#### 2 連絡会議の開催

各機関の担当者が定期的集まり、働き方改革や生産性向上支援に関する最新の制度や施策に関する情報共有や、支援案件に関する意見交換を行っています。このように各機関で連携を深めることにより、事業者からの相談内容に応じて適切な窓口へと繋いだり、支援機関が協働でセミナーを開催するなど、支援の輪が広がっています。



働き方改革・生産性向上セミナー

#### 3 活用しよう！施策ガイドブック

「人材の定着のため、働き方改革に取り組みたいが、どう進めればよいかわからない」「業務を効率化し生産性向上を図りたい」。そんな沖縄県内の中小企業・小規模事業者のために、働き方改革・生産性向上のための国や沖縄県、支援機関の施策を一冊にまとめた「働き方改革・生産性向上のための施策ガイドブック」を発行しています。

※これらの施策を活用した県内企業の事例が掲載された本ガイドブックはWebでも公表しています。



施策ガイドブック

## 働き方が変わる！働き方改革関連法スタート

使用者が法定の年次有給休暇付与日数が10日以上全ての労働者に対し、毎年5日、年次有給休暇を確実に取得させることや、時間外労働の上限を設定すること等を定めた働き方改革関連法が平成31年4月から順次施行されています。

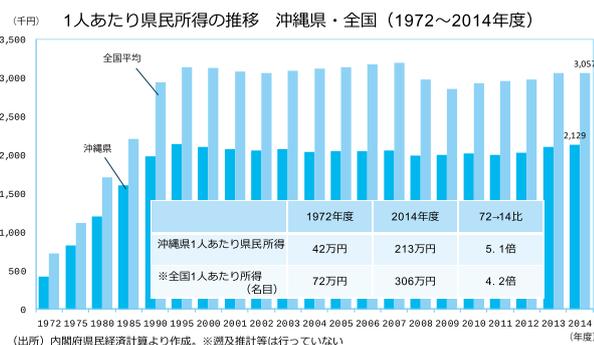
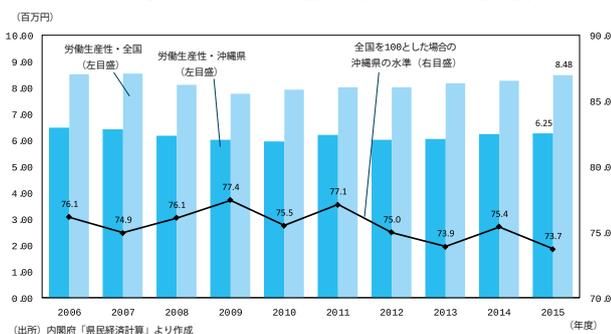
## 低迷する労働生産性

沖縄総合事務局では、平成30年度沖縄における生産性向上に向けた労働生産性分析調査を実施しました。本調査によると、沖縄県内の労働生産性は、全産業計で全国最下位となっており、全国平均の約7割程度の水準です。

労働生産性とは、付加価値額（企業の生産活動によって新たに生み出された価値）を労働投入量（労働者数又は労働者数×一人当たり年間就業時間）で除した数値です。労働生産性の向上は、県民所得の向上のためにも重要です。

沖縄県では全国平均に比べて、製造業に従事する従業員数の割合が低く、宿泊・飲食サービス業に従事する従業員数の割合が高くなっています。そのうえで、産業別の労働生産性をみると、製造業の労働生産性は全国46位である一方で、宿泊・飲食サービス業は全国11位となっています。このように、産業別で労働生産性に差があり、産業毎の課題に応じた生産性向上に取り組む必要があります。

沖縄県内の労働生産性は全国平均の7割程度



## 相談窓口のご案内

働き方改革や生産性向上に、どう取り組むべきか悩んでいませんか？そんなときには、次の公的な相談窓口をご活用ください。

### ○沖縄県働き方改革推進支援センター

就業規則の作成方法や賃金規定の見直し、労働関係助成金の活用など、社会保険労務士が無料でご相談に応じます。ご希望の中小企業・小規模事業者には専門家を派遣することも可能です（3回まで）。

電話：0120-420-780

メール：soudan@sr-okinawa.or.jp

場所：那覇市前島2-12-12

セントラルコーポ兼陽205

### ○沖縄県よろず支援拠点

中小企業・小規模事業者の経営相談の窓口です。経営上のあらゆるお悩み（IT導入、人手不足等）の相談に対応します。※事前予約が必要になります。

電話：098-851-8460

メール：contact@yorozu.okinawa

場所：那覇市字小緑1831番地1

沖縄産業支援センター4階414号室

## IT導入で生産性向上

働き方改革に不可欠な「労働時間の削減」や「人手不足対策」のためには、労働生産性を高めることが必要であり、設備更新やIT導入により業務効率化を促すことが可能です。設備取得に際し、「IT導入補助金」「ものづくり補助金」「業務改善助成金」や設備取得に係る税額控除など、公的支援施策を活用し、生産性向上に取り組んでみませんか。

## 沖縄働き方改革・生産性向上推進協議会

沖縄総合事務局、沖縄労働局、沖縄県、沖縄県商工会議所連合会、沖縄県商工会連合会、沖縄県中小企業団体中央会、沖縄県工業連合会、沖縄県経営者協会、沖縄経済同友会、沖縄県中小企業家同友会、沖縄県銀行協会、沖縄振興開発金融公庫、中小企業基盤整備機構沖縄事務所、沖縄県産業振興公社、沖縄県よろず支援拠点、沖縄税理士会、沖縄県中小企業診断士協会、連合沖縄、ポリテクセンター沖縄、沖縄産業保健総合支援センター、沖縄県社会保険労務士会、沖縄県働き方改革推進支援センター



内閣府 沖縄総合事務局  
経済産業部

■本記事に関するお問い合わせについて  
内閣府沖縄総合事務局経済産業部中小企業課内  
働き方改革・生産性向上推進運動事務局

TEL: 098-866-1755

e-mail: seisansei@meti.go.jp



# 県内大型プロジェクトの動向

事業名：一般国道449号本部北道路道路改築事業

種別：(公共) 民間 3セク

関係地域	本部町
事業主体	主体名：沖縄県(沖縄振興公共投資交付金) 所在地：沖縄県土木建築部道路街路課 那覇市泉崎1丁目2番2号 電話：098-866-2390
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国道449号は、国道505号との交点である本部町浦崎から国道58号との交点である名護市宮里に至る全長約23kmの主要幹線道路であり、防災拠点である本部港等の備蓄集積拠点を連絡する緊急輸送道路の円滑で安全な交通を確保する必要があることから、全線4車線化を進めている。</li> <li>・過年度より、本部南道路・名護バイパス・浜元拡幅工区と整備を進めており、現在、本事業区間である名護本部線と交差する本部町渡久地から瀬底大橋入口の本部町大浜間のみ2車線となっている。</li> <li>・当該区間を4車線整備して国道449号の全線を4車線化することにより、海洋博公園など本部地域の観光拠点へのアクセス性向上を図り地域振興を支援するものである。</li> </ul>
事業期間	平成21年度～令和4年度
事業規模	事業延長1.6kmの4車線道路
事業概要	<p>路線名：国道449号 本部北道路 事業区間：本部町字渡久地～字大浜 事業延長：長さ1.6km 幅員26m 4車線 道路規格：第4種第1級(設計速度 60km/h) 将来交通量：14,800台/日(平成42年推計)</p> <p>橋梁： 本部大橋 長さ352m 幅員10.50m(片側歩道付2車線) 上部工形式：鋼単純鋼床版箱桁+3径間連続鋼床版箱桁+2@鋼単純鋼床版箱桁 下部工形式：逆T式橋台、張出式橋脚 基礎工形式：鋼管杭基礎</p> <p>新本部大橋 長さ330m 幅員10.75m(片側歩道付2車線) 上部工形式：鋼5径間連続鋼床版箱桁橋 下部工形式：張出式橋脚、橋脚式橋台 基礎工形式：鋼管杭基礎、鋼管矢板井筒基礎</p>
経緯	・平成21年 事業着手
現況及び見通し	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成26年度に国道449号(本部南道路)を4車線供用開始し、本事業区間を除く区間を4車線化した。</li> <li>・平成29年1月31日に「官民連携による国際クルーズ拠点」を形成する港湾に本部港が選定され、拠点形成に向けて港湾設備、旅客ターミナルビル整備が計画されており、令和2年に運用開始を予定していることから、交通量の増加が予想される。</li> <li>・沖縄県の観光入域客数が増加していることに伴い、北部地域有数の観光拠点である国営沖縄記念公園(美ら海水族館)や世界遺産の今帰仁城跡等への観光客も増加しており、さらに、本部港におけるクルーズ拠点としての整備が計画され、当該地域の交通需要は今後ますます増加することが予想される。</li> <li>・また、防災拠点である本部港等の備蓄集積拠点を連絡する緊急輸送道路の円滑で安全な交通を確保する必要があることから、国道449号本部北道路の整備により国道449号の全線4車線化を図り、本部地域の観光拠点へのアクセス性の向上、緊急輸送道路のネットワークの円滑で安全な交通を確保することにより地域振興を支援する。</li> </ul>
進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成31年3月時点の事業費ベースの進捗率は73%である。</li> <li>・令和元年度は、当初予算として7.5億円を計上し、用地補償および橋梁、道路改良工事をすすめる。</li> </ul>
熟度	<input type="checkbox"/> 構想段階 <input type="checkbox"/> 計画段階 <input checked="" type="checkbox"/> 工事段階 <input type="checkbox"/> 開業・供用段階

国道449号4車線整備の状況図



現況写真(平成29年8月)



完成予想イメージ



(図および写真、イメージは沖縄県土木建築部道路街路課提供)

約20億人の巨大マーケット  
全国の特産品を沖縄からアジアへ

7th 沖縄

# 大交易会

国際食品商談会

2019

開催日時・場所

2019 11/14<sub>木</sub>・15<sub>金</sub>

9:00~17:00

沖縄コンベンションセンター  
宜野湾市立体育館

食品専門の商談会

個別商談形式

webによる事前マッチング

—日本最大規模の「食」の国際商談会—

## 参加者募集

申込方法

<http://www.gotf.jp/>

大交易会

検索

開催規模 バイヤー320社 サプライヤー380社

募集期間 4/19<sub>金</sub> 2019 → 7/24<sub>水</sub> 2019

参加料 90,000円(税別)

開催スケジュール(予定)

- 1日目
- ◇オープニングセレモニー
  - ◇個別商談会(7商談枠)
  - ◇フリー商談会
  - ◇歓迎レセプション・フードショー
- 2日目
- ◇個別商談会(7商談枠)
  - ◇フリー商談会

参加対象(商品カテゴリー)

- 青果、農産加工品
- お菓子、スイーツ
- 鮮魚、水産加工品
- 飲料、茶、コーヒー
- 精肉、畜産加工品
- 酒類
- 食品加工品
- サプリメント、健康食品
- 調味料

【主催】沖縄大交易会実行委員会

創設会員 沖縄県、沖縄懇話会

正会員 (株)ANA Cargo、(株)沖縄海邦銀行、(株)沖縄銀行、沖縄ヤマト運輸(株)、コザ信用金庫、(株)琉球銀行

準会員 沖縄県農業協同組合、沖縄セルラー電話(株)、那覇空港貨物ターミナル(株)、那覇空港ビルディング(株)、琉球朝日放送(株)、琉球放送(株)

一般会員 ANAホールディングス(株)、(株)アカネクリエーション、イオン琉球(株)、(株)沖縄コングレ、(株)沖縄タイムス社、沖縄テクノリート(株)、沖縄テレビ放送(株)、沖縄電力(株)、沖縄日通エアカーゴサービス(株)、沖縄ビル管理(株)、オリオンビール(株)、(株)金秀本社、久米島製糖(株)、(株)サンエー、大同火災海上保険(株)、(株)大米建設、拓南製鐵(株)、(株)とみや商会、南海海運(株)、日本航空(株)、琉球海運(株)、(株)琉球新報社、琉球セメント(株)、琉球通運(株)、琉球物流(株)、(株)りゅうせき

協力会員 (一財)沖縄観光コンベンションビューロー、沖縄経済同友会、(一社)沖縄県銀行協会、(一社)沖縄県経営者協会、(公社)沖縄県工業連合会、(公財)沖縄県産業振興公社、沖縄県商工会議所連合会、沖縄県商工会連合会、沖縄県情報通信関連産業団体連合会、沖縄県中小企業家同友会、沖縄県中小企業団体中央会、沖縄振興開発金融公庫(独)中小企業基盤整備機構沖縄事務所、内閣府沖縄総合事務局、(独)日本貿易振興機構(JETRO)沖縄貿易情報センター

運営 沖縄大交易会実行委員会事務局(公益財団法人 沖縄県産業振興公社内)

沖縄大交易会の開催様子を動画でご覧いただけます。



お問い合わせ

7th 沖縄大交易会2019  
マッチングデスク(担当/近藤・岩村)

〒541-0054 大阪府大阪市中央区南本町2-6-12 サンマリオンNBFタワー11階(株式会社JTB ふるさと開発事業部内)  
TEL06-6366-6135(土・日・祝日を除く平日9:30~17:30) E-mail: okinawa-daikouekikai@beepro.co.jp

(五十音順)

りゅうぎん  
ECO通帳

# 切替キャンペーン

キャンペーン期間2019年3月11日(月)～9月30日(月)

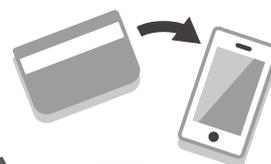
## りゅうぎんECO通帳とは？

通帳を発行しない普通預金口座です。通帳に代わってアプリで預金口座の残高や入出金明細がいつでもご確認いただけます。

もれなく  
もらえる！

紙の通帳からECO通帳への切り替えで

500円のキャッシュバック



ECO通帳アプリで  
できること



ご登録いただいた預金口座の残高・  
ご利用明細の確認（メモ機能付き）



デビットカードの利用明細の閲覧や次年度  
年会費が無料になるまでの金額確認



デビットカードの  
利用限度額等の変更



デビットカードの  
即時利用通知

対象	個人のお客さま	キャッシュバック 予定時期	2019年10月下旬に対象口座へご入金させていただきます。
取扱店	全営業店	ご留意点	●キャッシュバックの際、対象口座を解約、または紙通帳への再切替をされている場合は対象外となります。 ●その他ご留意点は、りゅうぎんHP、店頭パンフレットをご確認ください。
応募方法	応募不要。 ※サービスを開始した2019年2月25日から遡って対象者といたします。		



りゅうぎんECO通帳アプリのダウンロードはこちら

■推奨環境（対応OS）、Android OS 5.0以降、iOS 9.0以降  
※端末固有の事象や環境によって、動作等に一部制約が生じる場合があります。

 琉球銀行

2019年4月3日現在

## ●りゅうぎん調査● 県内の



### 景気は、拡大している

消費関連では、百貨店が前年を上回る

観光関連では、入域観光客数が前年を上回る

4月の県内景気を見ると、消費関連では、百貨店は売り場改装による化粧品の好調や衣料品の増加などから前年を上回り、スーパーは衣料品では夏物や新入学関連、住居関連では医薬品などが減少したことから既存店ベースは前年を下回った。耐久消費財では、新車販売は小型乗用車がレンタカーの増加により増加したことなどから前年を上回り、電気製品卸売はエアコンや冷蔵庫、洗濯機などが増加したことから前年を上回った。

建設関連では、公共工事は国、県、独立行政法人等・その他は減少したことから前年を下回った。建築着工床面積は、居住用が増加したことから前年を上回った。新設住宅着工戸数は、持家、給与、分譲は増加したことから前年を上回った。建設受注額は、公共工事は増加したことから前年を上回った。

観光関連では、入域観光客数は前年を上回った。国内客は前年を上回り、外国客は前年を下回った。主要ホテルは、稼働率、売上高、宿泊収入ともに前年を上回った。

総じてみると、観光関連は好調で、消費関連、建設関連は概ね好調なことから、県内景気は拡大している。

## 消費関連

百貨店売上高は、売り場改装による化粧品の好調や衣料品の増加などから2カ月連続で前年を上回った。スーパー売上高は、食料品は増加したものの、衣料品では夏物や新入学関連、住居関連では医薬品などが減少したことから、既存店ベースは3カ月ぶりに前年を下回った。全店ベースは7カ月連続で前年を上回った。新車販売台数は、小型乗用車がレンタカーの増加により増加したことなどから3カ月連続で前年を上回った。電気製品卸売販売額は、エアコンや冷蔵庫、洗濯機などが増加したことから、2カ月ぶりに前年を上回った。

先行きは、県民の消費マインドが堅調なことから、引き続き概ね好調を続けるとみられる。

## 建設関連

公共工事請負金額は、市町村は増加したが、国、県、独立行政法人等・その他は減少したことから、2カ月連続で前年を下回った。建築着工床面積(3月)は、非居住用は減少したが、居住用は増加したことから3カ月ぶりに前年を上回った。新設住宅着工戸数(3月)は、貸家は減少したが、持家、給与、分譲は増加したことから3カ月ぶりに前年を上回った。県内主要建設会社の受注額は、民間工事は減少したが、公共工事は増加したことから2カ月連続で前年を上回った。建設資材関連では、セメントは前年を下回り、生コンは公共工事向け、民間工事向けともに増加したことから前年を上回った。鋼材は民間工事の進捗により出荷が増加したことから前年を上回り、木材は住宅関連工事向けや足場材の出荷増などから前年を上回った。

先行きは、公共工事や新設住宅着工が高水準で推移することが予想され、引き続き概ね好調な動きが続くものとみられる。

## 観光関連

入域観光客数は、7カ月連続で前年を上回った。国内客は前年を上回り、外国客は前年を下回った。外国客は、空路利用客、海路利用客ともに減少した。方面別に寄与度でみると香港は増加し、台湾、中国本土、韓国は減少した。

県内主要ホテルは、稼働率、売上高、宿泊収入ともに前年を上回った。主要観光施設入場者数は2カ月連続で前年を上回った。ゴルフ場は、入場者数は前年を下回り、売上高は前年を上回った。

先行きは、アジア方面からの外国客の旅行需要は依然として根強いことや航空路線の拡充などがあり、好調に推移するものとみられる。

## 雇用関連・その他

新規求人数は、前年同月比0.4%減となり2カ月連続で前年を下回った。産業別にみると、情報通信業、宿泊業・飲食サービス業などで増加し、卸売業・小売業などで減少した。有効求人倍率(季調値)は1.18倍と、前月と同水準だった。完全失業率(季調値)は2.4%と、前月より0.7%ポイント改善した。

消費者物価指数は、光熱・水道や食料などの上昇により、前年同月比1.1%増と31カ月連続で前年を上回った。

企業倒産は、件数が5件で前年同月を1件下回った。負債総額は8億3,200万円で前年同月比43.3%減となった。

# 2019.4

りゅうぎん調査

増減率(%)

	前年同月比	前年同期比 ( 2019.2-2019.4 )
<b>消費関連</b>		
(1) 百貨店(金額)	5.8	2.1
(2) スーパー(既存店)(金額)	▲ 0.2	0.2
(3) スーパー(全店)(金額)	0.8	1.3
(4) 新車販売(台数)	3.4	4.4
(5) 電気製品卸売(金額)	14.9	6.6
<b>建設関連</b>		
(1) 公共工事請負金額(金額)	▲ 24.3	▲ 16.1
(2) 建築着工床面積(m <sup>2</sup> )	(3月) 17.7	(1-3月) ▲ 10.1
(3) 新設住宅着工戸数(戸)	(3月) 6.9	(1-3月) ▲ 14.7
(4) 建設受注額(金額)	40.3	104.2
(5) セメント(トン数)	▲ 2.4	▲ 7.2
(6) 生コン(m <sup>3</sup> )	2.2	1.9
(7) 鋼材(金額)	3.8	1.1
(8) 木材(金額)	6.8	6.2
<b>観光関連</b>		
(1) 入域観光客数(人数)	2.2	5.3
うち外国客数(人数)	▲ 9.6	5.1
(2) 県内主要ホテル稼働率	(前年同月差) P1.5 (実数) P82.3	(前年同期差) P▲0.2 (実数) P82.5
(3) " 売上高(金額)	P7.7	P▲0.8
(4) 観光施設入場者数(人数)	5.7	2.1
(5) ゴルフ場入場者数(人数)	▲ 3.9	▲ 4.9
(6) " 売上高(金額)	2.7	▲ 0.1
<b>その他</b>		
(1) 県内新規求人数(人数)	▲ 0.4	1.5
(2) 有効求人倍率(季調値)	(実数) 1.18	(実数) 1.19
(3) 消費者物価指数(総合)	1.1	0.6
(4) 企業倒産件数(件数)	(前年同月差) ▲ 1	(前年同期差) ▲ 4
(5) 広告収入(県内マスコミ)(金額)	(3月) ▲ 0.0	(1-3月) ▲ 2.1

(注1) 公共工事請負金額は西日本建設業保証株式会社沖縄支店調べ。建築着工床面積、新設住宅着工戸数は国土交通省調べ。県内新規求人数、有効求人倍率は沖縄労働局調べ。入域観光客数、消費者物価指数は沖縄県調べ。企業倒産件数は東京商工リサーチ沖縄支店調べ。Pは速報値。

(注2) 百貨店は、2014年9月より調査先が一部変更となった。

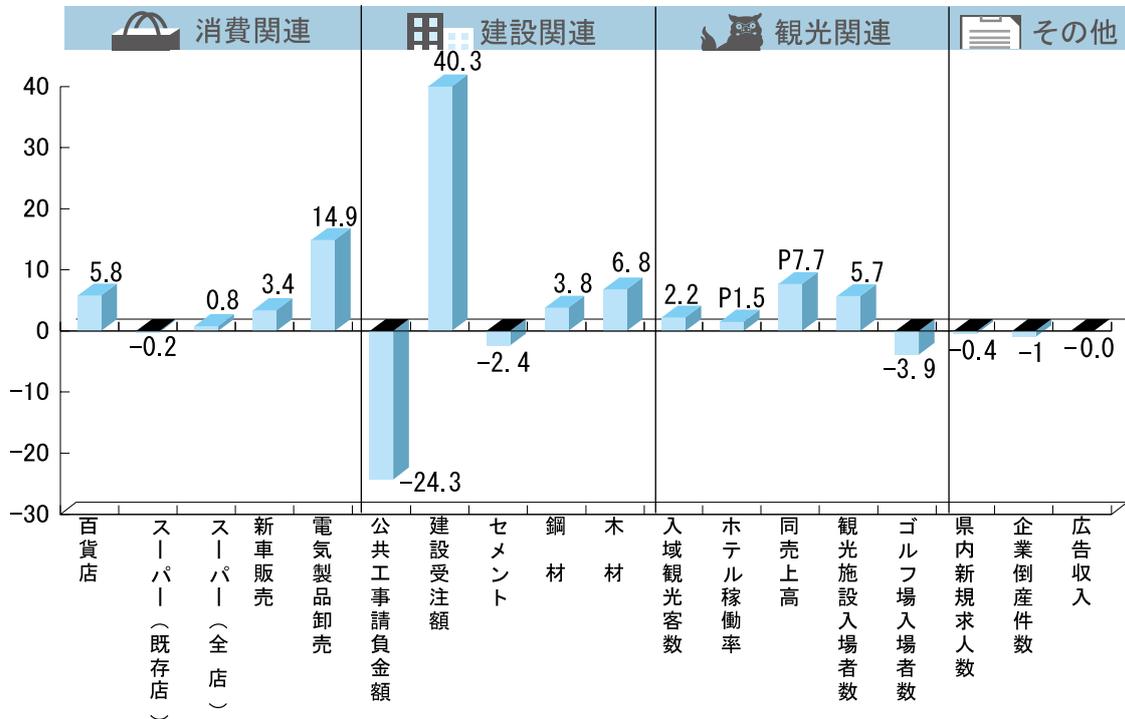
(注3) 2012年5月より外国客の入域観光客数を掲載した。

(注4) 主要ホテルは、2016年7月より調査先を26ホテルから25ホテルとした。

(注5) 2016年7月より企業倒産件数の前年同期差は、3カ月の累計件数の差とする。

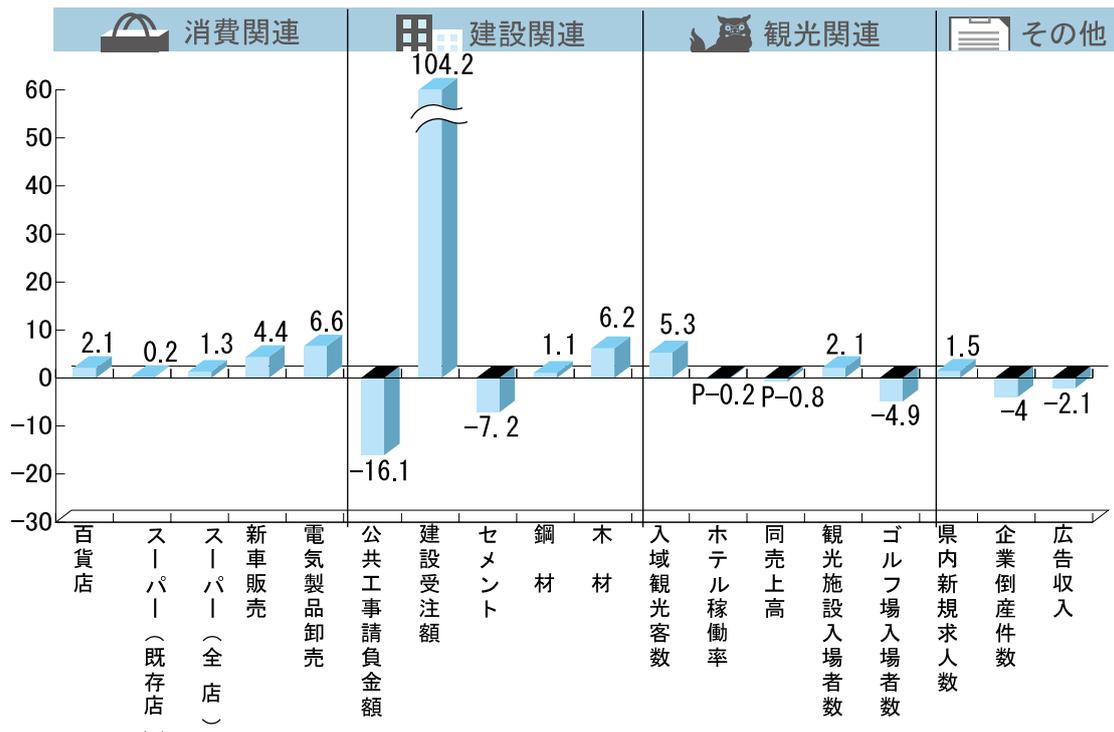
(注6) 建設受注額は、2018年2月より調査先を19社から18社とした。

項目別グラフ 単月 2019.4



(注) 広告収入は19年3月分。数値は前年比(%)。  
 ホテル稼働率(%ポイント)、企業倒産件数(件)は前年差。Pは速報値。

項目別グラフ 3カ月 2019.2~2019.4



(注) 広告収入は19年1月~19年3月分。数値は前年比(%)。  
 ホテル稼働率(%ポイント)は前年差。企業倒産件数(件)は3カ月の累計件数の前年差。Pは速報値。

消費関連

建設関連

観光関連

その他

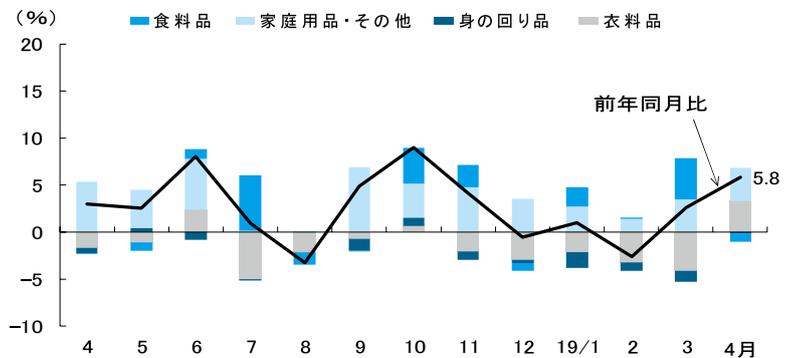
# 消費関連

## ① 百貨店売上高 (前年同月比)

※棒グラフは品目別寄与度

### 2カ月連続で増加

- 百貨店売上高は、前年同月比5.8%増と2カ月連続で前年を上回った。衣料品は前年より販促企画が後ずれ(前年は3月)したことなどから増加し、家庭用品・その他は売り場改装により化粧品が好調だったことなどから増加した。食料品は前年4月にあった催事が今年は3月に前倒しになったことなどから減少し、身の回り品は売り場縮小の影響などから減少した。
- 品目別にみると、衣料品(同10.2%増)、家庭用品・その他(同9.0%増)は増加し、食料品(同4.7%減)、身の回り品(同1.4%減)は減少した。

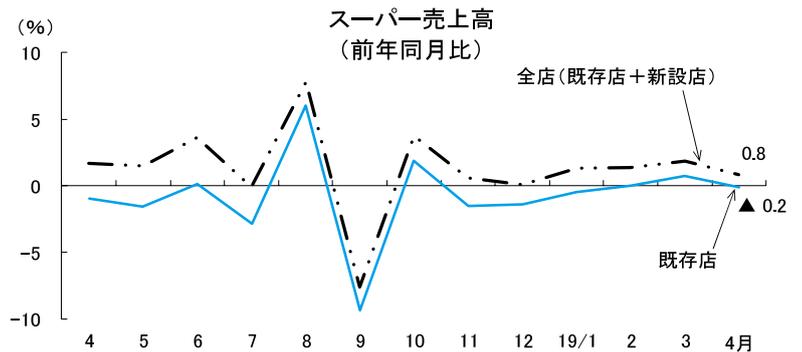


(注)2014年9月より調査先百貨店が一部変更となった。  
出所:りゅうぎん総合研究所

## ② スーパー売上高 (前年同月比)

### 全店ベースは7カ月連続で増加

- スーパー売上高は、既存店ベースでは前年同月比0.2%減と3カ月ぶりに前年を下回った。
- 食料品は、青果や惣菜などが増加したことや、前年に改装中の店舗があり反動増がみられたことなどから同0.1%増となった。衣料品は、夏物衣料や新入学関連が減少したことなどから同2.2%減となった。住居関連は、医薬品や家電製品の減少などから同0.4%減となった。
- 全店ベースでは、同0.8%増と7カ月連続で前年を上回った。



出所:りゅうぎん総合研究所

## ③ 新車販売台数 (前年同月比)

※棒グラフは車種別寄与度

### 3カ月連続で増加

- 新車販売台数は5,722台となり、前年同月比3.4%増と3カ月連続で前年を上回った。普通自動車は、普通乗用車は減少したものの、小型乗用車はレンタカーが増加したことなどから前年を上回った。貨物車・その他は、軽貨物車の増加などから前年を上回った。
- 普通自動車(登録車)は3,388台(同3.5%増)で、うち普通乗用車は747台(同8.5%減)、小型乗用車は2,459台(同9.4%増)であった。軽自動車(届出車)は2,334台(同3.3%増)で、うち軽乗用車1,889台(同1.6%増)であった。



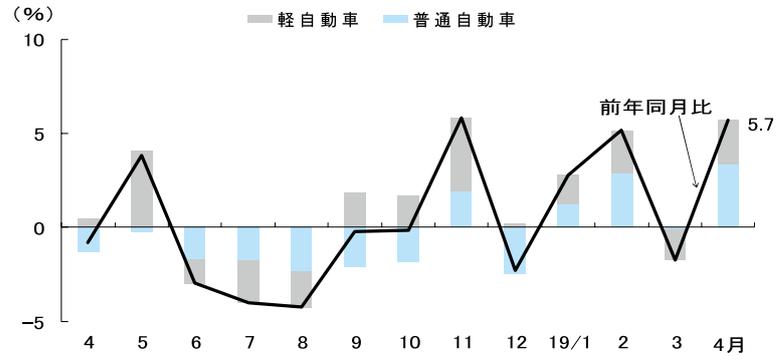
出所:沖縄県自動車販売協会

#### ④ 中古自動車販売台数【登録ベース】

※棒グラフは車種別寄与度

##### 2カ月ぶりに増加

- ・中古自動車販売台数(普通自動車及び軽自動車の合計、登録ベース)は2万65台で前年同月比5.7%増と、2カ月ぶりに前年を上回った。
- ・内訳では、普通自動車は7,464台(同9.4%増)、軽自動車は1万2,601台(同3.6%増)となった。



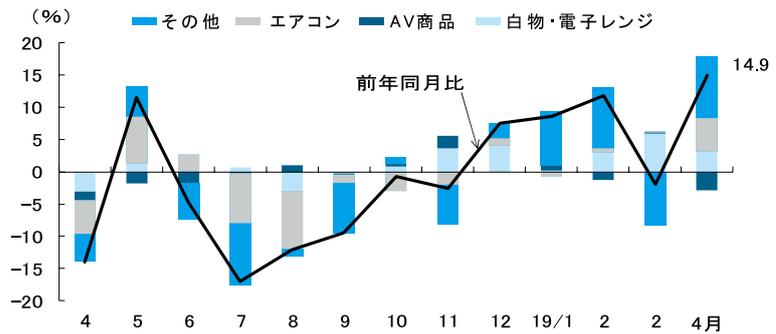
出所:沖縄県中古自動車販売協会 ※登録ベース

#### ⑤ 電気製品卸売販売額(前年同月比)

※棒グラフは品目別寄与度

##### 2カ月ぶりに増加

- ・電気製品卸売販売額は、テレビは減少したものの、エアコンや白物家電の洗濯機や冷蔵庫などが増加したことなどから前年同月比14.9%増と2カ月ぶりに前年を上回った。
- ・品目別にみると、AV商品ではBDレコーダーが同23.7%減、テレビが同24.5%減、白物では洗濯機が同20.4%増、冷蔵庫が同12.9%増、エアコンが同41.4%増、その他は同17.6%増となった



消費  
費  
関  
連

建  
設  
関  
連

観  
光  
関  
連

そ  
の  
他

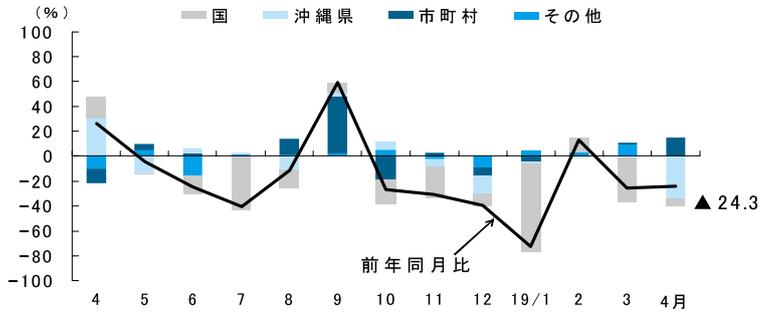
# 建設関連

## ① 公共工事請負金額 (前年同月比)

※棒グラフは発注者別寄与度

### 2カ月連続で減少

- 公共工事請負金額は、170億4,493万円で、市町村は増加したが、国、県、独立行政法人等・その他は減少したことから、前年同月比24.3%減となり、2カ月連続で前年を下回った。
- 発注者別では、国(同26.5%減)、県(同61.6%減)、独立行政法人等・その他(同4.9%減)は減少し、市町村(同94.8%増)は増加した。



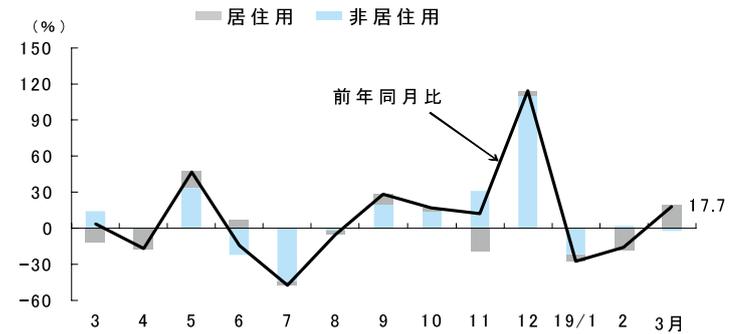
出所:西日本建設業保証株式会社沖縄支店

## ② 建築着工床面積 (前年同月比)

※棒グラフは用途別寄与度

### 3カ月ぶりに増加

- 建築着工床面積(3月)は16万2,035㎡となり、居住用は増加したが、非居住用は減少したことから、前年同月比17.7%増と3カ月ぶりに前年を上回った。用途別では、居住用は同34.9%増となり、非居住用は同4.6%減となった。
- 建築着工床面積を用途別(大分類)にみると、居住用では、居住専用は増加し、居住産業併用は減少した。非居住用では、運輸業用や医療、福祉用などが増加し、公務用や飲食店・宿泊業用などが減少した。



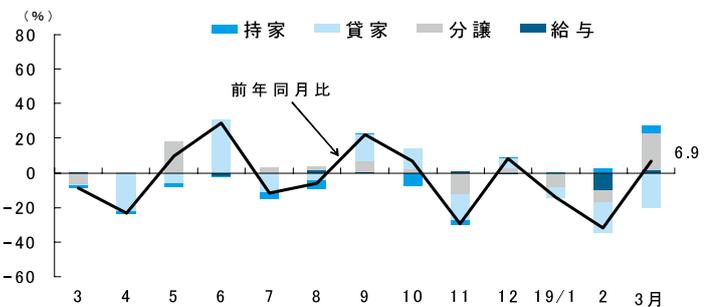
出所:国土交通省

## ③ 新設住宅着工戸数 (前年同月比)

※棒グラフは利用関係別寄与度

### 3カ月ぶりに増加

- 新設住宅着工戸数(3月)は1,340戸となり、貸家は減少したが、持家、給与、分譲は増加したことから前年同月比6.9%増と3カ月ぶりに前年を上回った。
- 利用関係別では、持家(236戸)が同27.6%増、給与(27戸)が同440.0%増、分譲(372戸)が同254.3%増と増加し、貸家(705戸)が同26.4%減と減少した。



出所:国土交通省 ※給与は、社宅や宿舍などのこと。

消費関連

建設関連

観光関連

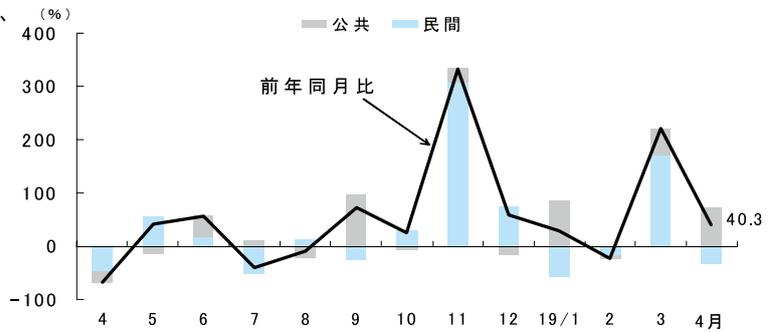
その他

#### ④ 建設受注額（前年同月比）

※棒グラフは発注者別寄与度

##### 2カ月連続で増加

- ・建設受注額（調査先建設会社：18社）は、民間工事は減少したが、公共工事は増加したことから、前年同月比40.3%増と2カ月連続で前年を上回った。
- ・発注者別では、公共工事（同610.7%増）は2カ月連続で増加し、民間工事（同37.4%減）は2カ月ぶりに減少した。

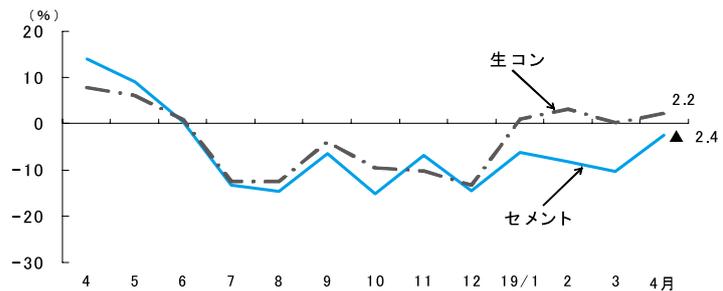


出所：りゅうぎん総合研究所

#### ⑤ セメント・生コン（前年同月比）

##### セメントは10カ月連続で減少、生コンは4カ月連続で増加

- ・セメント出荷量は8万3,269トンとなり、前年同月比2.4%減と10カ月連続で前年を下回った。
- ・生コン出荷量は15万4,440m<sup>3</sup>で同2.2%増となり、公共工事向け、民間工事向けともに増加したことから4カ月連続で前年を上回った。
- ・生コン出荷量を出荷先別にみると、公共工事では、学校関連向けや防衛省関連向けなどが増加し、橋梁関連向けなどが減少した。民間工事では、分譲マンション向けや戸建て住宅向けなどが増加し、貸家向けなどが減少した。

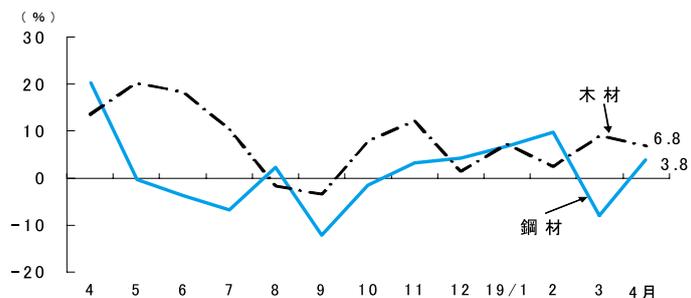


出所：りゅうぎん総合研究所

#### ⑥ 鋼材・木材（前年同月比）

##### 鋼材は2カ月ぶりに増加、木材は7カ月連続で増加

- ・鋼材売上高は、民間工事の進捗により出荷が増加したことから前年同月比3.8%増と2カ月ぶりに前年を上回った。
- ・木材売上高は、住宅関連工事向けや足場材の出荷増などから同6.8%増と7カ月連続で前年を上回った。



出所：りゅうぎん総合研究所

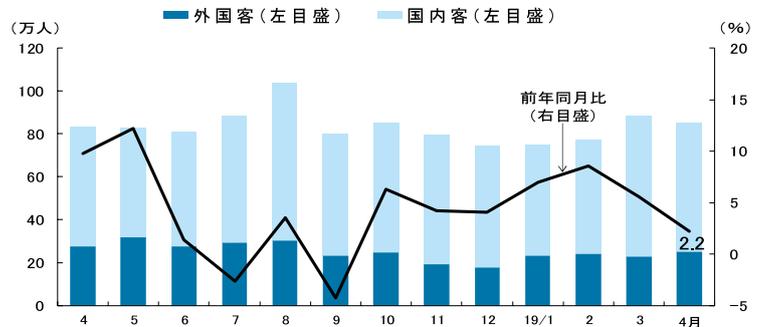


# 観光関連

## ① 入域観光客数(実数、前年同月比)

### 4月の過去最高を更新

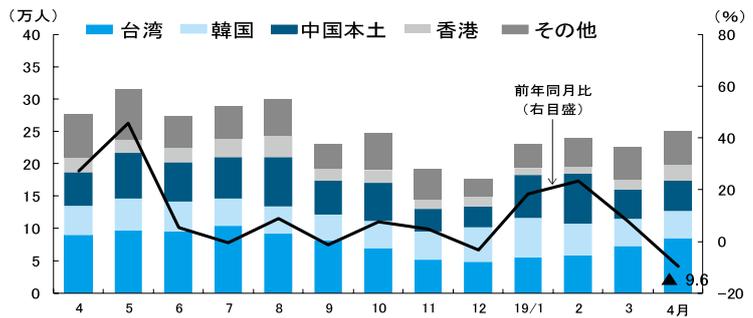
- 入域観光客数は、85万1,400人(前年同月比2.2%増)となり、7カ月連続で前年を上回った。
- 路線別では、空路は74万4,500人(同5.4%増)となり7カ月連続で前年を上回った。海路は10万6,900人(同15.8%減)となり4カ月ぶりに前年を下回った。
- 国内客は、60万1,100人(同8.0%増)となり、7カ月連続で前年を上回った。



## ② 入域観光客数【外国客】(実数、前年同月比)

### 4カ月ぶりに前年を下回る

- 入域観光客数(外国客)は、25万300人(前年同月比9.6%減)となり、4カ月ぶりに前年を下回った。空路は14万8,400人(同2.4%減)と75カ月ぶりに前年を下回り、海路は10万1,900人(同18.3%減)と4カ月ぶりに前年を下回った。
- 国籍別では、台湾8万4,800人(同5.6%減)、中国本土4万6,900人(同10.3%減)、韓国4万2,000人(同6.5%減)、香港2万5,400人(同11.4%増)、その他5万1,200人(同23.6%減)となった。

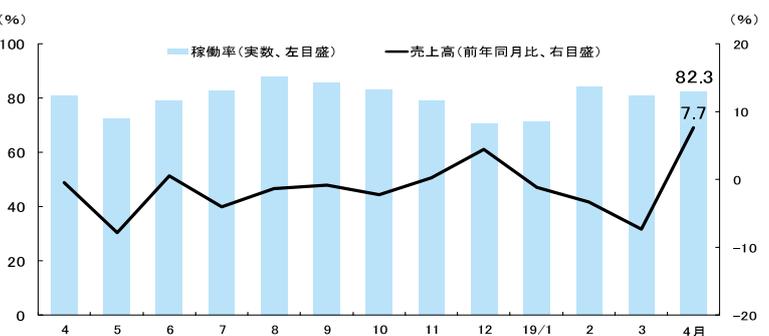


出所: 沖縄県観光政策課

## ③ 主要ホテル稼働率・売上高(実数、前年同月比)

### 稼働率は3カ月ぶりに上昇、売上高は4カ月ぶりに増加

- 主要ホテル(速報値)は、客室稼働率は82.3%となり、前年同月比1.5%ポイント上昇し3カ月ぶりに前年を上回った。売上高は同7.7%増と4カ月ぶりに前年を上回った。
- 那覇市内ホテル(速報値)は、客室稼働率は80.6%と同1.8%ポイント上昇し7カ月連続で前年を上回り、売上高は同6.8%増と3カ月ぶりに前年を上回った。リゾート型ホテル(速報値)は、客室稼働率は83.3%と同1.4%ポイント上昇して3カ月ぶりに前年を上回り、売上高は同8.0%増と4カ月ぶりに前年を上回った。



出所: りゅうぎん総合研究所

消費関連

建設関連

観光関連

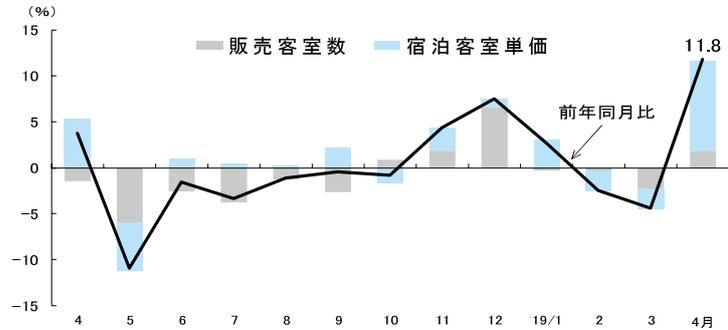
その他

#### ④ 主要ホテル宿泊収入（前年同月比）

※棒グラフは客室数・単価別寄与度

##### 3カ月ぶりに増加

- ・主要ホテル売上高（速報値）のうち宿泊収入は、販売客室数（数量要因）、宿泊客室単価（価格要因）ともに上昇し、前年同月比11.8%増と3カ月ぶりに前年を上回った。
- ・那覇市内ホテル（速報値）は、販売客室数、宿泊客室単価ともに上昇し、同8.5%増と2カ月ぶりに前年を上回った。リゾート型ホテル（速報値）は、販売客室数、宿泊客室単価ともに上昇し、同12.8%増と3カ月ぶりに前年を上回った。

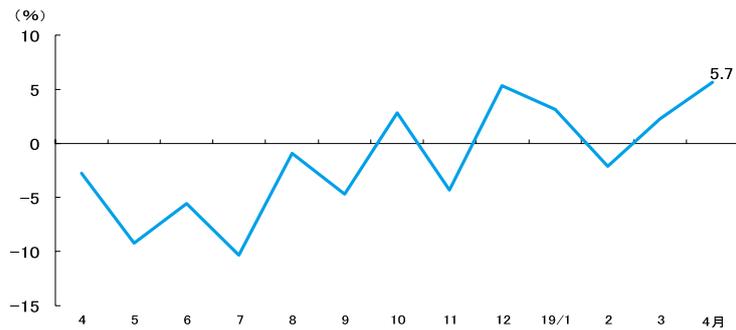


出所：りゅうぎん総合研究所

#### ⑤ 主要観光施設の入場者数（前年同月比）

##### 2カ月連続で増加

- ・主要観光施設の入場者数は、前年同月比5.7%増となり、2カ月連続で前年を上回った。

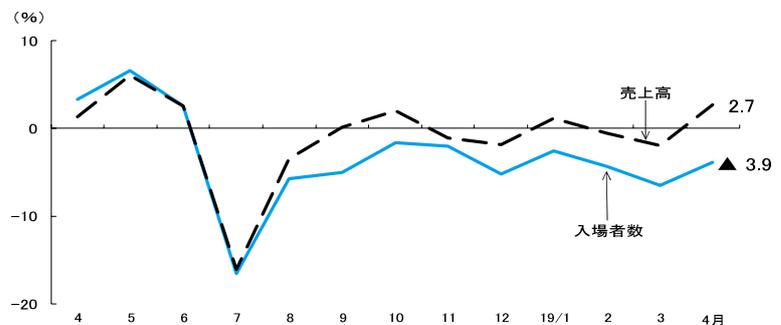


出所：りゅうぎん総合研究所

#### ⑥ 主要ゴルフ場入場者数・売上高（前年同月比）

##### 入場者数は減少、売上高は増加

- ・主要ゴルフ場の入場者数は、前年同月比3.9%減と10カ月連続で前年を下回った。県内客は10カ月連続で前年を下回り、県外客は6カ月連続で前年を下回った。
- ・売上高は同2.7%増と3カ月ぶりに前年を上回った。



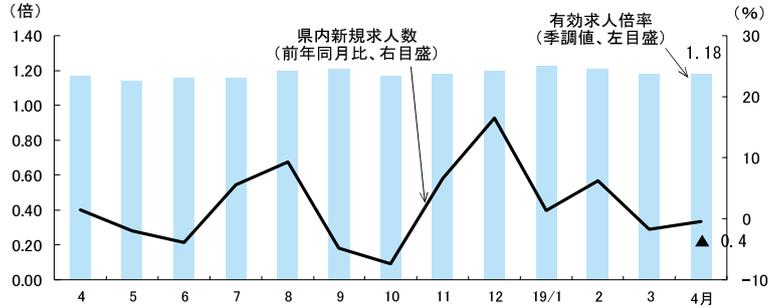
出所：りゅうぎん総合研究所（注）調査先は8施設（うち県外客については6施設）からなる。

# 雇用関連・その他

## ① 雇用関連（新規求人数と有効求人倍率）

### 新規求人数は減少、有効求人倍率(季調値)は同水準

- ・新規求人数は、前年同月比0.4%減となり2カ月連続で前年を下回った。産業別にみると、情報通信業、宿泊業・飲食サービス業などで増加し、卸売業・小売業などで減少した。有効求人倍率(季調値)は1.18倍と、前月と同水準だった。
- ・労働力人口は、73万3,000人で同1.5%減となり、就業者数は、71万5,000人で同0.8%減となった。完全失業者数は1万8,000人で同21.7%減となり、完全失業率(季調値)は2.4%と、前月より0.7%ポイント改善した。



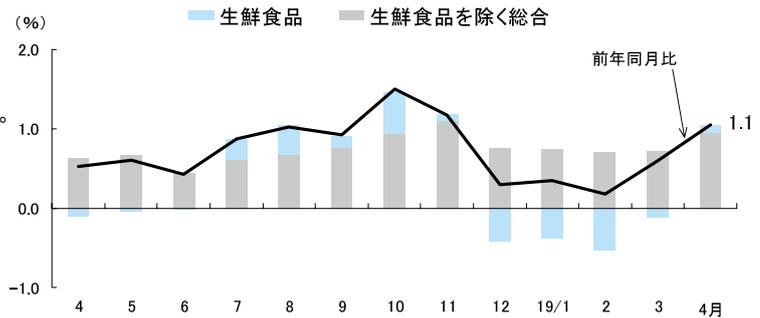
出所：沖縄労働局  
 (注)有効求人倍率は、2018年12月以前の数値について新季節指数へ遡って改訂した。

## ② 消費者物価指数【総合】(前年同月比)

※棒グラフは品目別寄与度

### 31カ月連続で上昇

- ・消費者物価指数は、前年同月比1.1%増と31カ月連続で前年を上回った。生鮮食品を除く総合は同1.0%増と前年を上回った。
- ・品目別の動きをみると、光熱・水道や食料などは上昇し、家具・家事用品などは下落した。

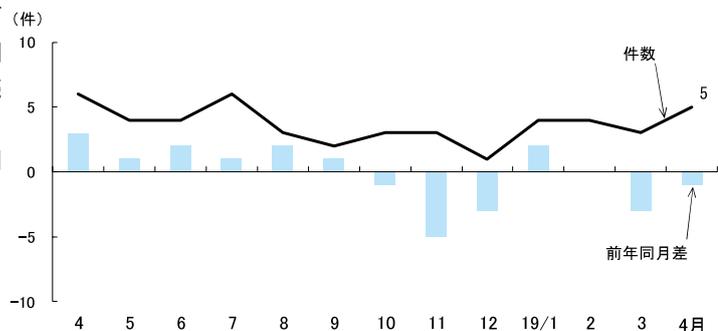


出所：沖縄県(注1)端数処理の関係で寄与度の合計は前年比と一致しないことがある。  
 (注2)2016年7月より2015年=100に改定された。

## ③ 企業倒産

### 件数、負債総額ともに減少

- ・倒産件数は、5件で前年同月を1件下回った。業種別では、サービス業3件(同2件減)、不動産業1件(同1件増)、小売業1件(同1件増)となった。
- ・負債総額は、8億3,200万円となり、前年同月比43.3%減となった。



出所：東京商工リサーチ沖縄支店  
 (注)負債総額1,000万円以上

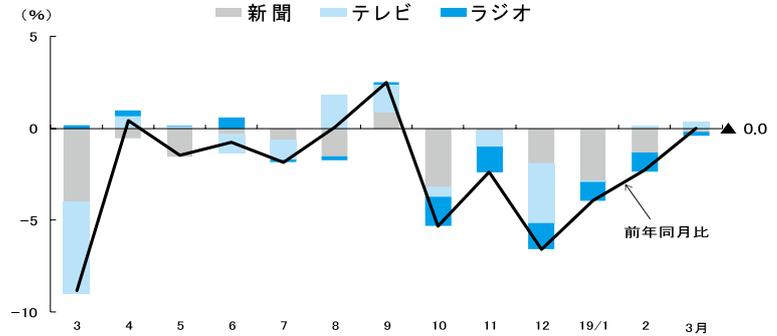
消費関連  
 建設関連  
 観光関連  
 その他

#### ④ 広告収入【マスコミ】(前年同月比)

※棒グラフはメディア別寄与度

##### 前年並みとなる

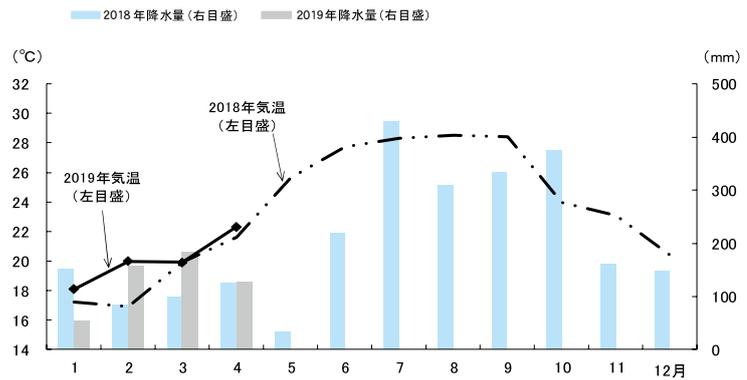
・広告収入(マスコミ:3月)は、前年同月比で前年並みとなった。



出所:りゅうぎん総合研究所

#### 参考 気象:平均気温・降水量【那覇】

- ・平均気温は22.3℃となり、平年(21.4℃)より高く、前年同月(21.6℃)より高かった。降水量は128.0mmで前年同月(126.0mm)と同水準だった。
- ・低気圧や前線などの影響で曇りや雨の日が多かったが、高気圧に覆われて晴れた日もあった。平均気温は平年より高く、降水量は平年より少なく、日照時間は平年並みだった。



出所:沖縄気象台

消費関連

建設関連

観光関連

その他



## 県内の公示地価

### 工業地の価格高騰加速

りゅうぎん総合研究所 研究員  
及川 洋平

国土交通省は3月19日、2019年1月1日時点の公示地価を発表しました。沖縄県は住宅地、商業地、工業地とも上昇率（前年比）が全国1位となりました。上昇率は住宅地8.5%、商業地10.3%、工業地17.8%となっています。

住宅地と商業地は6年連続の上昇、工業地は7年連続の上昇です。このところの土地取引の活発さがうかがえます。年々、上昇率（平均変動率）の増加幅が大きくなっており、とくに工業地は価格高騰の加速化がみられます。

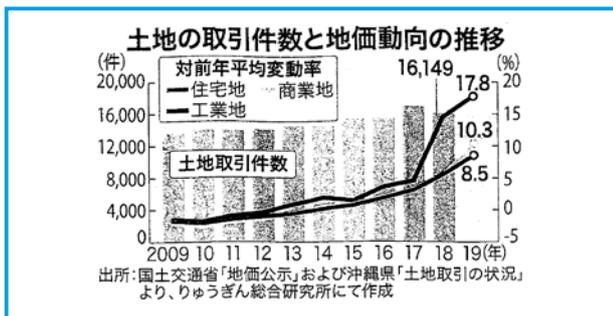
土地取引の件数も増加傾向にあり、18年の県全体の取引件数は16,149件となりました。市町村別に件数の多い順でみると、那覇市2,357件、うるま市1,471件、沖縄市1,425件となっています。

土地取引件数は17年に大きく伸びたのが特徴的です。市町村別に増加件数（前年比）の多い順でみると、宜野湾市412件、沖縄市231件、豊見城市182件となっています。

増加の要因として、①浦添北道路・臨港道路浦添線の整備②宜野湾市の土地区画整理事業③沖縄市の山里第一地区市街地再開発（パーチェ山里）一などが影響したとみられます。

豊見城市豊崎では17年に工業地を増設しており、取引件数とともに次年以降の地価上昇にも寄与しています。

今後もモノレール延長に伴う駅周辺地区の再開発事業や好調な観光によるホテルの新設などにより、取引件数と地価のさらなる上昇が見込まれます。



## GDP三つの側面

### 経済活動 理解しやすく

りゅうぎん総合研究所 常務  
照屋 正

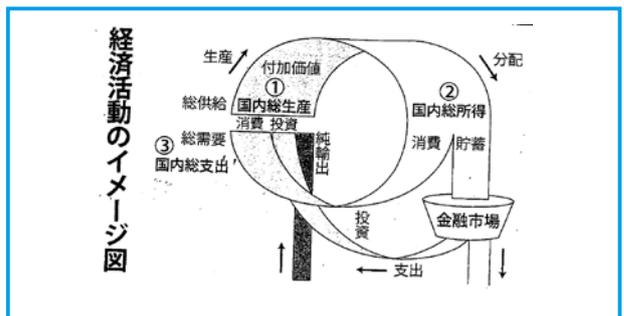
国内総生産（GDP）は、1年間に生み出された財やサービス、いわゆる付加価値の合計額です。日本の名目GDPは約550兆円で、米国、中国に次ぐ大きさです。

GDPは計測する時間の経過にもとづき、国内総生産、国内総所得、国内総支出と三つの側面を持ちます。GDPという一つの対象を違う角度でとらえているだけなので、「国内総生産＝国内総所得＝国内総支出」となります。

国全体の経済のしくみは、「国内総生産＝国内総所得＝国内総支出」を循環的にとらえることで理解しやすくなります。前述の通り国内総生産とは付加価値の合計です。付加価値は、分配されて国内総所得に姿を変え、国内総所得は支出されて国内総支出となり、その支出を受けて再び国内総生産が発生します。こうした見方をもとにイメージ図を作ってみました。

国内総生産で生れた付加価値は、家計や企業、政府の所得として分配されると、国内総所得になります。国内総所得は「消費」と「貯蓄」に分かれます。「消費」はそのまま国内総支出の構成要素になりますが、「貯蓄」はいったん金融市場に流れ込みます。

金融市場に入ったお金は、家計や企業が住宅投資や設備投資のために借り入れし、国内総支出の民間投資を構成します。また、政府は国債で金融市場からお金を調達し、公共投資を行います。民間投資と公共投資を合わせて国内総支出の「投資」となります。





## 18年度労働力調査

### 労働市場は顕著に改善

りゅうぎん総合研究所 専務  
 久高 豊

県企画部統計課がこのほど公表した2018年度平均の労働力調査によると、県内の労働市場は好調な経済を反映して顕著な改善をみせています。

労働力調査では、15歳以上人口を働く意思のある人である労働力人口と非労働力人口とに分けます。非労働力人口とは学生や家事、その他（高齢者など）のことです。労働力人口は、職に就いている人である就業者と完全失業者に分かれます。労働力人口に占める完全失業者の割合が完全失業率です。

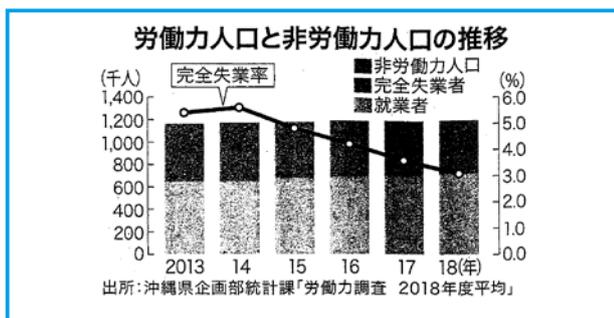
13～18年度までの推移をみると、完全失業率が14年度にはいったん上昇するものの、その後は着実に低下し18年度には3.1%となっています。

この間、15歳以上人口が3万4千人増えたのに対し、労働力人口はそれを上回る5万2千人増えています。就業者が6万7千人増えた一方、完全失業者が1万4千人減って、完全失業率が下がったことになります。

非労働力人口の家事（いわゆる専業主婦）が家事の傍ら就業し、高齢者がリタイアせずに働き続け、その他に含まれる就業を諦めていた人たちが労働力人口に振り替わっていったものとみられます。

また、人手不足に直面した企業が働きやすい環境を整えたことも就業者の増加を後押ししています。

一方、全国の18年度平均の完全失業率は2.4%と沖縄とはまだ開きがあります。好調な経済が続いて、この先さらに労働市場が改善することが期待されます。



## ソニー坊や

### 西原のアイドル的存在

琉球銀行 西原支店長  
 富本 隆

地域をアピールするシンボリックなモニュメントを「ランドマーク」といいます。例えば那覇市では、若狭海岸に立つ高さ15mの龍柱、牧志希望ヶ丘公園に設置された重さ7トンの那覇大綱などが知られています。

西原町には、兼久の国道329号沿いにコンクリート像のかわいいランドマーク「ソニー坊や」が設置されています。

もともとソニー坊やは中部製糖工場（現在のサンエー西原シティ）の角地に立っていました。製糖工場が閉鎖されたころ「さわふじ中央通り会」が結成され、地域のシンボルがほしいという声からソニー坊やが話題になりました。

もとの場所を探したところ半分地中に埋まっていたソニー坊やを見つけ、それを修復して今の場所に設置したといいます。ソニー坊やは漫画「アッチャン」を、ソニーの前身である東京通信工業が販売促進用として仕立てたイメージキャラクターです。

沖縄では、ソニーの総代理店「電波堂」の創業者である新川唯介氏が、交通安全を呼びかけるため県内30カ所以上に設置しました。現在は、本部町謝花、うるま市安慶名、宜野湾市野嵩、西原町兼久、糸満市名城の5カ所に現存しています。

季節ごとに変わるソニー坊やのコスチュームが人気を呼んでいます。4月はランドセルを背負って新入生の姿になり、夏はエイサーを演出、クリスマスにはサンタクロースになります。通り会がこの取り組みを続けており、地域のアイドル的存在に育っています。



当たれば最高  
10億円の  
チャンス



※キャリーオーバー発生時(理論値) ※ロトセブン, 1口300円購入時

# ATM宝くじ

## 好評発売中!!



### 当せん金の受取忘れなし

りゅうぎんATMで数字選択式の宝くじを購入できるサービスです。  
当せん金は自動で振込されますので、受取忘れもありません。



ロトセブン



ロトシックス



ミニロト



ナンバーズフォー



ナンバーズスリー

詳しくは、りゅうぎん窓口またはHPまで

平成30年1月11日現在



Grant Thornton

An instinct for growth™

経理部門の基本有用情報  
 太陽グラントソントン  
 今月の経理情報 2019年5月

## 今回のテーマ

# 外国人労働者の活用と雇用管理

労働力不足や採用難が話題となる昨今ですが、その解決策の一つとして2018年12月に出入国管理法の一部が改正、2019年4月1日から施行されました。また、4月から外国人雇用管理に関するガイドラインも改正適用されました。

### これまでの在留資格

改正前の在留資格は28種類。就労の可否という観点から次の3グループに分けることができます。

	具体的資格の例	種類	就労の可否
A	技術／人文知識／国際業務、技能実習、特定活動（ワーキングホリデー）	19	資格の範囲で可能
B	短期滞在、留学、家族滞在	5	原則不可
C	永住者、日本人の配偶者	4	制限なし

B.の内での留学と家族滞在については、資格外活動の許可を受けることにより一定条件下での就労が可能となります。東京労働局のまとめによると、この許可を受けた留学の資格で就労する人が最も多く、都に届けられている438,775人の外国労働者の内32.4%を占めます。次に続くのはA.の内の技術・人文等の専門的・技術的分野で31.0%です。全国的には状況が少し異なり最多はC.のグループです。

### 新しい在留資格

改正により「特定技能」資格が新たに加われました。介護・ビルクリーニング・外食業等14の分野において実務知識・経験を有し、かつ日本語能力を有する外国人に対して認められる資格（1号）です。熟練技能を有するようになると2号が認められます。

実務知識については、各分野で技能試験が行われます。日本語能力とは、日本語能力試験N4以上が想定されています。

### 外国人労働者の雇用管理の改善等に関して事業主が適切に対処するための指針（外国人雇用管理指針）

外国人の募集・採用・労働条件・保険・人事管理・生活支援などの項目について企業の対応を示したガイドラインで、外国人を雇用する全ての企業に適用されます。2007年から施行されていましたが、12年を経て次のような内容が追加されました。

<労働条件>最低賃金額以上の賃金支払／労働時間状況の客観的方法での把握／正社員と非正規社員との間の不合理な待遇差や差別的取り扱いの禁止／ストレスチェック／解雇制限、等

<生活支援>地域社会での行事等に参加する機会の提供努力義務／帰国時の援助／多様性への配慮

<在留資格に応じた措置>新設項目。特定技能についての留意事項／留学生について、インターンシップの適正な運用、アルバイトについての留意事項、等

最近の労働関係法令の改正の内容が盛り込まれ、企業による外国人労働者の適切な待遇確保、適切な支援の重要性を基本的考えとしています。

### お見逃しなく！

新制度の特定技能資格を持つ外国人を採用する場合、受け入れ企業は当該外国人との雇用契約とともに支援計画を策定してビザを申請します。雇用契約の内容にも、受け入れ企業自体に対しても満たすべき厳しい基準が定められています。これは特定技能資格が、既存の技能実習制度において労務管理等の不備により生じている様々な問題を考慮した上で創設された資格であるためです。

# りゅうぎん Visa デビットカードなら

今日の  
申込みで  
**すぐ**  
**使える!**



**単体型** デビットカードのみ



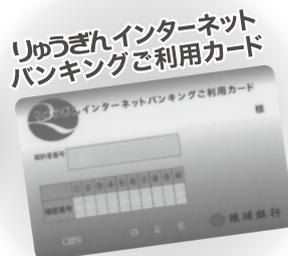
**一体型** デビットカード+キャッシュカード



対象の  
**りゅうぎんVisaデビットカード**

当日発行対象のカードはデザインが  
決められております。予めご了承ください。

**これも  
今日から**



●【即時発行の条件】個人のお客様で、窓口にてご本人確認が可能な顔写真付き書類（運転免許証、個人番号カードなど）のご提出が必要となります。※ Visaデビットカードにつきましては、新規発行のみ。再発行・切替は、今秋以降を予定しています。●りゅうぎんVisaデビットカード【ご利用対象者】契約時の年齢が満15歳以上（中学生を除く）の個人のお客様で、当行に普通預金の口座をお持ちであること。【年会費】500円（税別）※初年度無料

## 沖 縄

**5.3** 東京商工リサーチ沖縄支店の「18年県内企業売上高ランキング(金融業除く)」によると、上位100社の売上高合計は前年比5.1%増の2兆2,371億2,500万円で、1988年の集計開始以来過去最高となった。売上高が100億円超の企業は同2社増の69社で、5年連続で過去最多を更新した。

**5.21** 観光庁の「都道府県別消費税免税店舗数(19年4月1日現在)」によると、全国の免税店舗数は5万198店舗で、18年4月1日からの1年間で12.4%増となった。沖縄県は1,018店舗で、同9.3%の増加となった。

**5.24** 沖縄都市モノレール㈱は、20年春から東日本旅客鉄道㈱の交通系ICカード「Suica」の沖縄都市モノレール全線で利用開始することを決定した。また、Kitaca、PASMO、manaca、TOICA、PiTaPa、ICOCA、はやかけん、nimoca、SUGOCAも利用可能となる。

**5.27** 沖縄UDS㈱は、宮古島の東海岸エリアにリゾート「the rescape(ザ・リスケープ)」を開業した。客室は、1棟独立のヴィラタイプを中心に40㎡から112㎡までの9タイプ41室(平屋24棟、一部2階建て)。

**5.29** 県農林水産部によると、18年12月末の肉用牛の飼養戸数は2,384戸(前年同期比2.5%減)、豚は273戸(同5.2%減)、山羊は1,484戸(同5.4%増)となった。頭数は、肉用牛が7万3,836頭(同1.0%増)、豚が20万6,828頭(同1.9%減)、山羊は1万2,035頭(13.4%増)などとなった。

**5.30** 沖縄国税事務所によると、18年分所得税等の確定申告書の提出人員は前年比2.6%増の20万665人で、20年連続の増加となった。また、所得金額は同1.9%増の4,337億6,400万円で、申告納税額は同1.3%増の363億5,100万円だった。

## 全国・海外

**5.9** パナソニック㈱とトヨタ自動車㈱は、新しい合併会社「プライム ライフ テクノロジーズ㈱」の設立に向けた契約を締結した。パナソニックのくらしに対する知見やデジタルテクノロジーと、トヨタ自動車のモビリティに対する知見を活用し、より魅力ある街づくりの実現に取り組む。

**5.13** 米国通商代表部は、5月10日に中国からの2,000億ドル相当の輸入品に対する追加関税率を、現行の10%から25%に引き上げると発表した。その対抗措置として中国政府も5月13日に、アメリカからの600億ドル相当の輸入品に対する追加関税を最大25%に引上げると発表した。

**5.14** ㈱東京商工リサーチによると、18年(1-12月)に全国で新しく設立された法人は前年比2.7%減の12万8,610社となり、09年以来9年ぶりに前年を下回った。産業では、建設業が同25.6%減の1万3,595社と、個別業種で最大の減少幅となった。

**5.14** 財務省の18年度の国際収支状況(速報)によると、経常収支は前年度比2兆7,605億円減の19兆4,144億円となり、黒字幅が縮小した。貿易収支は、輸入額の増加が輸出額の増加を上回ったことから黒字幅を縮小し、貿易・サービス収支は黒字幅を縮小した。

**5.20** 内閣府が発表した19年1-3月期のGDP成長率(季節調整済前期比)は、1次速報値で実質0.5%増(年率2.1%増)となった。名目は0.8%増(年率3.3%増)となった。18年度の実質GDP成長率は前年比0.6%増、名目0.5%増と4年連続のプラスとなった。

**5.24** 内閣府の月例経済報告によると、政府は景気全体の判断を、前月の「このところ輸出や生産の一部に弱さもみられるが、緩やかに回復している」から「輸出や生産の弱さが続いているものの、緩やかに回復している」に引き下げた。

# 沖縄県内の主要経済指標

暦年	百貨店 売上高	スーパー 売上高 (既存店)	スーパー 売上高 (全店)	電気製品 卸売額	新車販売 台数	中古自動車 販売台数	公共工事請負額		建築着工床面積	
	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	百万円	前年比	千平米	前年比
2016	2.7	3.4	4.4	0.7	2.5	4.2	333,988	3.9	2,103	3.2
2017	2.7	1.5	2.1	▲ 1.5	2.1	2.8	351,069	5.1	2,249	7.0
2018	1.9	▲ 0.6	1.7	▲ 4.5	5.9	▲ 0.7	346,669	▲ 1.3	2,293	1.9
2018 3	▲ 0.6	0.9	3.5	5.5	▲ 2.8	▲ 0.2	54,532	19.7	138	3.5
4	3.0	▲ 1.0	1.7	▲ 13.9	36.9	▲ 0.8	22,513	26.3	128	▲ 17.2
5	2.6	▲ 1.6	1.5	11.5	20.8	3.8	16,134	▲ 4.5	151	46.8
6	8.0	0.1	3.6	▲ 4.7	▲ 0.1	▲ 3.0	25,324	▲ 24.9	189	▲ 14.5
7	0.9	▲ 2.9	▲ 0.1	▲ 17.0	2.8	▲ 4.0	26,729	▲ 40.6	235	▲ 47.5
8	▲ 3.3	6.0	7.8	▲ 12.0	▲ 1.9	▲ 4.2	36,794	▲ 11.5	183	▲ 5.2
9	4.9	▲ 9.3	▲ 7.7	▲ 9.5	5.6	▲ 0.2	37,192	59.2	197	28.6
10	9.0	1.9	3.7	▲ 0.7	13.9	▲ 0.2	20,558	▲ 26.8	179	17.0
11	4.1	▲ 1.5	0.5	▲ 2.6	10.7	5.8	16,031	▲ 30.7	208	12.1
12	▲ 0.5	▲ 1.4	0.1	7.5	▲ 2.8	▲ 2.3	11,613	▲ 39.7	352	114.2
2019 1	1.0	▲ 0.5	1.3	8.5	▲ 2.9	2.8	14,944	▲ 72.6	122	▲ 27.3
2	▲ 2.6	0.0	1.4	11.8	5.6	5.2	27,833	12.8	138	▲ 15.8
3	2.6	0.7	1.9	▲ 2.0	4.6	▲ 1.7	40,417	▲ 25.9	162	17.7
4	5.8	▲ 0.2	0.8	14.9	3.4	5.7	17,044	▲ 24.3	-	-
出所	りゅうぎん総合研究所調べ				自販協	中古 自販協	西日本建設業保証 沖縄支店		国土交通省	

注) 百貨店売上高は、2014年9月より調査先が一部変更となった。

注) 新車販売台数の出所は沖縄県自動車販売協会、中古自動車販売台数は沖縄県中古自動車販売協会。

暦年	新設住宅着工戸数		建設 受注額	セメント 出荷数量	生コン 出荷数量	鋼材 売上高	木材 売上高	観光施設 入場者数	ゴルフ場 入場者数	広告 収入
	戸	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比
2016	16,201	0.4	7.5	▲ 7.6	▲ 14.2	▲ 12.6	▲ 6.6	2.6	▲ 2.9	0.3
2017	16,591	2.4	▲ 8.0	11.3	9.5	26.4	0.3	3.6	3.2	0.1
2018	16,803	1.3	10.6	▲ 1.8	▲ 4.2	2.7	10.6	▲ 2.2	▲ 1.0	▲ 2.3
2018 3	1,253	▲ 8.9	▲ 0.2	13.7	▲ 1.2	17.4	24.2	1.7	8.0	▲ 8.8
4	1,171	▲ 23.4	▲ 68.7	14.1	7.9	20.4	13.6	▲ 2.7	4.3	0.4
5	1,148	9.5	41.6	9.0	6.2	▲ 0.3	20.2	▲ 9.2	8.5	▲ 1.5
6	1,730	28.8	56.3	0.3	0.9	▲ 3.8	18.2	▲ 5.5	2.5	▲ 0.8
7	1,690	▲ 11.7	▲ 40.8	▲ 13.3	▲ 12.5	▲ 6.8	10.4	▲ 10.3	▲ 16.6	▲ 1.8
8	1,341	▲ 5.9	▲ 9.5	▲ 14.6	▲ 12.5	2.3	▲ 1.8	▲ 0.9	▲ 5.8	0.1
9	1,482	22.2	72.2	▲ 6.5	▲ 3.9	▲ 12.3	▲ 3.4	▲ 4.7	▲ 5.0	2.5
10	1,486	6.8	25.1	▲ 15.2	▲ 9.6	▲ 1.5	7.8	2.8	▲ 1.6	▲ 5.3
11	1,139	▲ 29.7	333.9	▲ 6.9	▲ 10.2	3.2	12.3	▲ 4.3	▲ 2.0	▲ 2.4
12	1,507	8.3	58.1	▲ 14.6	▲ 13.4	4.3	1.5	5.4	▲ 5.2	▲ 6.6
2019 1	1,070	▲ 14.2	28.4	▲ 6.2	1.1	6.7	7.2	3.1	▲ 2.6	▲ 3.9
2	1,093	▲ 32.1	▲ 23.3	▲ 8.2	3.2	9.7	2.5	▲ 2.1	▲ 4.3	▲ 2.3
3	1,340	6.9	220.8	▲ 10.4	0.3	▲ 8.0	9.1	2.3	▲ 6.5	▲ 0.0
4	-	-	40.3	▲ 2.4	2.2	3.8	6.8	5.7	▲ 3.9	-
出所	国土交通省		りゅうぎん総合研究所調べ							

注) 建設受注額は、2018年2月より調査先を19社から18社とした。

暦年	入域観光客数		入域観光客数のうち外国客		ホテル稼働率(実数)		ホテル売上高(前年比)		鉱工業生産指数(季調値)	
	千人	前年比	千人	前年比	市内	リゾート	市内	リゾート	2010年=100	前年比
2016	8,613.1	11.0	2,082.1	38.7	82.2	80.3	3.6	3.8	95.5	▲ 5.2
2017	9,396.2	9.1	2,542.2	22.1	81.3	80.1	▲ 0.9	0.9	99.9	4.6
2018	9,842.4	4.7	2,903.8	14.2	80.7	79.4	0.6	▲ 1.8	96.7	▲ 3.2
2018 3	837.4	7.6	210.3	32.8	83.3	82.6	▲ 0.1	▲ 0.4	107.2	▲ 7.5
4	833.2	9.7	276.8	27.2	78.8	81.9	▲ 3.9	0.9	98.8	▲ 9.0
5	830.9	12.2	316.3	45.9	71.3	72.8	▲ 6.1	▲ 8.5	97.8	10.0
6	809.7	1.4	275.1	5.2	78.1	79.5	0.9	0.5	102.0	2.7
7	884.1	▲ 2.6	290.8	▲ 0.6	80.6	84.1	▲ 0.8	▲ 4.9	89.3	▲ 4.3
8	1,037.9	3.5	300.0	8.8	85.9	89.5	▲ 2.2	▲ 1.1	103.1	▲ 0.1
9	801.5	▲ 4.3	230.5	▲ 1.3	87.3	85.0	4.0	▲ 2.5	95.1	▲ 7.2
10	849.3	6.3	246.5	7.5	80.5	84.7	2.6	▲ 4.1	93.5	▲ 8.2
11	795.2	4.2	191.1	4.8	85.3	75.7	4.7	▲ 2.0	92.3	4.4
12	747.5	4.0	177.2	▲ 3.2	76.1	67.4	4.1	4.7	90.7	▲ 8.0
2019 1	753.5	7.0	229.8	18.2	75.9	69.0	1.2	▲ 2.2	95.4	2.4
2	772.2	8.5	240.1	23.3	89.9	80.9	▲ 2.3	▲ 3.9	94.0	▲ 1.5
3	884.0	5.6	226.6	7.8	P83.5	79.4	P▲1.0	▲ 10.2	97.1	3.3
4	851.4	2.2	250.3	▲ 9.6	P80.6	P83.3	P6.8	P8.0	-	-
出所	県文化観光スポーツ部 観光政策課				りゅうぎん総合研究所調べ				県企画部統計課	

注) ホテルは、2016年7月より調査先が26ホテルから25ホテルとなった。

注) 2012年5月より外国客の入域観光客数を掲載した。

注) 鉱工業生産指数の暦年値、前年比は原指数の増減率。 2013年11月より2010年=100に改定された。

暦年	企業倒産件数	負債総額		消費者物価指数	失業率(季調値)	就業者数	有効求人倍率(季調値)	新規求人人数(県内)	通関輸出	通関輸入
	件	百万円	前年比	前年比	%	前年比	倍	前年比	百万円	百万円
2016	42	5,158	▲ 50.3	0.1	4.4	2.3	0.97	10.3	27,928	177,391
2017	51	6,223	20.6	0.5	3.7	1.8	1.11	6.6	32,347	194,709
2018	44	12,416	99.5	0.9	3.4	2.3	1.17	2.1	29,105	175,054
2018 3	6	576	▲ 67.4	1.2	3.2	4.8	1.14	0.0	1,367	12,222
4	6	1,467	1,028.5	0.5	3.0	4.6	1.17	1.5	1,890	7,658
5	4	347	▲ 11.3	0.6	3.9	1.7	1.14	▲ 2.0	1,461	15,708
6	4	1,317	1,781.4	0.4	3.2	0.4	1.16	▲ 3.9	1,687	9,788
7	6	5,697	1,605.7	0.9	2.8	0.6	1.16	5.5	1,103	15,803
8	3	941	499.4	1.0	3.5	2.9	1.20	9.3	1,481	13,756
9	2	414	2,487.5	0.9	3.9	1.6	1.21	▲ 4.8	1,316	11,697
10	3	605	97.1	1.5	3.8	1.6	1.17	▲ 7.4	1,864	22,440
11	3	56	▲ 93.4	1.2	3.1	4.0	1.18	6.6	1,336	12,945
12	1	10	▲ 99.2	0.3	3.0	2.7	1.20	16.5	13,104	19,097
2019 1	4	560	▲ 9.7	0.4	2.8	4.5	1.23	1.4	982	23,937
2	4	708	93.4	0.2	2.0	4.6	1.21	6.3	7,567	7,412
3	3	110	▲ 80.9	0.6	3.1	0.7	1.18	▲ 1.8	1,233	9,343
4	5	832	▲ 43.3	1.1	2.4	▲ 0.8	1.18	▲ 0.4	2,377	15,763
出所	東京商工リサーチ沖縄支店			県企画部統計課		沖縄労働局		沖縄地区税関		

注) 消費者物価指数は、2016年7月より2015年=100に改定された。

注) 失業率と有効求人倍率は、2018年12月以前の数値について新季節指数へ遡って改訂した。

# 沖縄県内の金融統計

年度	銀行券発行額	銀行券還収額	銀行券増減 (▲還収超)	貸出金利 (地銀3行)	手形交換高(金額は億円)				不渡実数 (金額)	不渡発生率
	億円	億円	億円	%	千枚	前年比	金額	前年比	百万円	%
2016FY	2,830	4,284	▲ 1,452	1.628	229	▲ 6.6	3,767	▲ 8.8	138	0.037
2017FY	2,344	3,916	▲ 1,728	1.559	211	▲ 7.9	3,677	▲ 2.4	82	0.022
2018FY	2,511	4,092	▲ 1,582	1.506	201	▲ 4.7	3,599	▲ 2.1	24	0.007
2018 3	188	367	▲ 179	1.531	16	▲ 17.1	275	▲ 18.8	0	0.000
4	267	248	▲ 19	1.538	16	▲ 1.8	332	▲ 16.2	7	0.022
5	168	484	▲ 316	1.526	20	▲ 3.7	370	▲ 0.0	0	0.000
6	208	275	▲ 67	1.520	16	▲ 18.1	262	▲ 21.0	0	0.001
7	206	321	▲ 114	1.517	19	▲ 5.2	374	▲ 17.1	3	0.008
8	226	402	▲ 176	1.515	18	▲ 3.0	334	▲ 6.2	0	0.000
9	150	322	▲ 172	1.515	14	▲ 8.9	259	▲ 1.7	6	0.024
10	188	395	▲ 206	1.515	19	▲ 0.9	324	▲ 1.9	1	0.001
11	189	343	▲ 154	1.514	16	▲ 2.8	277	▲ 6.3	1	0.004
12	452	123	▲ 329	1.506	15	▲ 6.2	252	▲ 4.1	6	0.024
2019 1	110	622	▲ 512	1.505	17	▲ 3.1	310	▲ 0.0	0	0.000
2	158	253	▲ 94	1.501	16	▲ 2.5	267	▲ 6.9	0	0.000
3	189	304	▲ 115	1.483	15	▲ 11.3	238	▲ 13.6	0	0.000
4	-	-	-	-	15	▲ 6.4	335	▲ 0.8	0	0.000
出所	日本銀行那覇支店				那覇手形交換所					

注) 銀行券増減は、端数調整により一致しない場合がある。

注) 貸出金利は、暦年ベース。

注) 不渡発生率は、不渡実数(金額) ÷ 手形交換高(金額) × 100

年度	地銀3行預金量 (信託勘定含む未残)		地銀3行融資量 (信託勘定含む未残)		県内金融機関 の預貯金残高 (郵便貯金は含まない)		沖縄振興開発 金融公庫融資量 (未残)		沖縄県信用保証協会 債務残高	
	億円	前年比	億円	前年比	億円	前年比	億円	前年比	億円	前年比
2016FY	45,634	0.6	34,673	4.9	45,235	2.7	8,199	1.8	1,201	▲ 6.8
2017FY	47,488	4.1	36,762	6.0	47,533	5.1	8,491	3.6	1,173	▲ 2.3
2018FY	48,679	2.5	38,613	5.0	49,141	3.4	8,587	1.1	1,202	2.5
2018 3	47,488	4.1	36,762	6.0	47,533	5.1	8,491	3.6	1,173	▲ 2.3
4	48,229	3.7	36,184	6.2	48,312	4.4	8,454	3.3	1,146	▲ 1.9
5	47,987	3.5	36,443	6.1	48,095	4.2	8,429	3.3	1,138	▲ 0.5
6	48,183	3.7	36,582	6.2	48,355	4.4	8,411	3.6	1,141	0.6
7	48,122	3.2	36,785	6.2	48,263	3.8	8,385	3.7	1,155	1.4
8	48,058	3.4	36,889	6.0	48,256	4.0	8,369	3.6	1,173	2.7
9	48,570	4.0	37,222	5.9	48,778	4.4	8,345	3.1	1,183	3.1
10	47,953	3.0	37,137	6.0	48,189	3.6	8,317	4.0	1,181	2.8
11	48,376	3.2	37,333	6.0	48,593	3.6	8,329	3.9	1,191	3.6
12	48,217	3.2	37,525	5.5	48,467	3.7	8,453	2.7	1,197	4.1
2019 1	47,709	2.5	37,605	5.2	48,010	3.1	8,465	2.4	1,192	3.1
2	47,964	2.5	37,838	5.2	48,208	2.9	8,465	1.7	1,189	2.1
3	48,679	2.5	38,613	5.0	49,141	3.4	8,587	1.1	1,202	2.5
4	49,305	2.2	38,003	5.0	49,675	2.8	8,555	1.2	-	-
出所	沖縄県銀行協会				日本銀行本店		沖縄振興開発金融公庫		沖縄県信用保証協会	

注) 県内金融機関の預金残高は、19年2月分より日本銀行(本店)ホームページ上で公表している県内預金合計に遡及改訂した。

# りゅうぎんポイントサービス



ポイント数に応じてサービスいろいろ!

## とくとく特典

### 特典1

ATM時間外  
手数料が **無料!**  
(当行ATM利用時のみ)

### 特典2

当行本支店間の  
振込手数料が **無料!**  
(キャッシュカード使用時のみ)

### 特典3

スーパー定期の  
金利を**上乗せ!**  
(※店頭表示金利+0.05%)

## ポイントサービスとは!

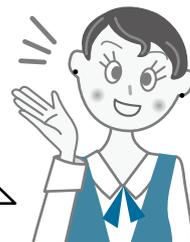
日頃お世話になっているお客様に対し、毎月のお取引内容をポイント化し、その合計ポイントに応じて手数料割引または金利優遇等の特典が受けられるサービスのことをいいます。

シルバーコース **50point**以上

ゴールドコース **100point**以上

エクセレントコース **200point**以上

ポイントサービスのお申込みがまだの方は、店頭のポイントサービス申込み用紙にご記入のうえ、窓口または郵便にてお申込み下さい。



※商品についての詳しいお問い合わせは、りゅうぎん窓口かフリーコールまで。

フリーコール **0120-19-8689**

琉球銀行 ポイントサービス

<http://www.ryugin.co.jp/>

検索

## 特集レポートバックナンバー

### ■平成29年

- 7月 (No.573) 経営トップに聞く 生活協同組合コープおきなわ  
An Entrepreneur イーストホームタウン沖縄株式会社  
特集 沖縄県内における2017年プロ野球  
春季キャンプの経済効果
- 8月 (No.574) 経営トップに聞く 医療法人六人会  
An Entrepreneur レキオファーマ株式会社  
特集 第32回NAHAマラソンの経済波及効果
- 9月 (No.575) 経営トップに聞く 株式会社学友館  
An Entrepreneur フランジェリーパティスリー いまいパン
- 10月 (No.576) 経営トップに聞く 興南施設管理株式会社  
An Entrepreneur 株式会社フルステム
- 11月 (No.577) 経営トップに聞く 株式会社大和工業  
An Entrepreneur 合同会社暮らしかたらほ
- 12月 (No.578) 経営トップに聞く オム・ファム株式会社  
An Entrepreneur 株式会社クロックワーク

### ■平成30年

- 1月 (No.579) 経営トップに聞く サイアスホーム株式会社  
An Entrepreneur 株式会社琉球テクノロジー  
特集 沖縄県経済2017年の回顧と2018年の展望
- 2月 (No.580) 経営トップに聞く 北谷長老酒造工場株式会社
- 3月 (No.581) 経営トップに聞く 株式会社沖縄浄管センター  
An Entrepreneur BENTY合同会社  
特別寄稿 那覇空港ハブにおけるアジア諸国との  
貿易動向(2017年)
- 4月 (No.582) 経営トップに聞く 株式会社ナノシステムソリューションズ  
An Entrepreneur 株式会社アクティブホビープロダクツ
- 5月 (No.583) 特集 2017年度の沖縄県経済の動向
- 6月 (No.584) 経営トップに聞く 株式会社沖縄ヤマハ  
特別寄稿 沖縄県におけるインバウンド消費を取り  
巻く動向について  
特集 沖縄県の主要経済指標

- 7月 (No.585) 経営トップに聞く 株式会社琉球住樂  
An Entrepreneur 株式会社イメイド
- 8月 (No.586) 経営トップに聞く 株式会社沖縄ソフトウェアセンター  
特集1 リーマンショック後の県内ホテル稼働状況  
特集2 沖縄県内における2018年プロ野球  
春季キャンプの経済効果
- 9月 (No.587) 経営トップに聞く 平安株式会社  
特別寄稿 インバウンド消費と沖縄貨物ハブよりの  
輸出について
- 10月 (No.588) 経営トップに聞く 株式会社日進商会  
An Entrepreneur 城紅型染工房
- 11月 (No.589) 経営トップに聞く 有限会社アグロオーガジャパン  
An Entrepreneur 沖縄チエール株式会社
- 12月 (No.590) 経営トップに聞く 沖縄ガス株式会社

### ■平成31年

- 1月 (No.591) 経営トップに聞く マエダ電気工事株式会社  
特集1 ハワイの観光と沖縄  
特集2 沖縄県経済2018年の回顧と2019年の展望
- 2月 (No.592) 経営トップに聞く 福山グループ
- 3月 (No.593) 経営トップに聞く 照屋電気工事株式会社  
An Entrepreneur 農業生産法人有限会社白川ファーム  
特集 沖縄県内宿泊施設の需給動向
- 4月 (No.594) 経営トップに聞く エイアンドブリュ沖縄株式会社  
An Entrepreneur ソーエイドー株式会社  
特集 欧・米・豪・露からの外国人観光客の誘致について

### ■令和元年

- 5月 (No.595) 経営トップに聞く 有限会社インターリンク沖縄  
An Entrepreneur そうざいの店 仲尾次  
特別寄稿 第2滑走路完成後の那覇空港について  
特集 2018年度の沖縄県経済の動向

OCSのクレジットカード

# おトクと安心のカード



OCS-VISA カード



OCS-VISA ゴールドカード

✓ **新規ご入会で最大6,000ポイント進呈**

(詳しくはOCSウェブサイトをご覧ください)

✓ **年間のご利用でボーナスポイントがたまる♪**

✓ **海外・国内旅行を安心サポート♪※**

※OCS-VISA ゴールドカードは旅行傷害保険が自動的に付帯されます。  
※OCS-VISA カードは旅行代金をお支払いの場合旅行傷害保険が適用となります。  
※お申込にあたっては審査が必要になります。審査の結果によっては、ご希望に添えない場合もございます。

## お申込み・お問い合わせ

### お電話

OCSサポートセンター  
Tel: **098-901-0094** (9#)  
営業時間 /  
平日 9:00 ~ 17:30 (土・日・祝祭日を除く)

### WEB 24時間 365日受付中!



### 窓口

営業時間 / 10:00 ~ 19:30  
(土・日・祝祭日も営業中)  
◇ **プラザ新都心店**  
サンエー那覇メインプレイス 2階 南口  
◇ **プラザ具志川店**  
サンエー具志川メインシティ 2階

株式会社OCS 〒900-8609 沖縄県那覇市松山2丁目3番10号  
貸金業登録番号: 沖縄総合事務局長(4)第00017号 日本貸金業協会会員第005474号  
包括信用購入あっせん業者登録 登録番号 沖縄総合事務局長 沖縄(包)第4号



りゅうぎん調査 No.596 令和元年 6月5日発行

発行所: 株式会社りゅうぎん総合研究所  
〒900-0025 那覇市壺川1丁目1番地9  
りゅうぎん健保会館3階  
TEL 835-4650 FAX 833-3732  
印刷: 沖縄高速印刷株式会社